

令和８年度 第２回茨木市スポーツ推進審議会資料

- 1 第二期茨木市スポーツ推進計画策定に向けて
- 2 現計画後期における施策の実績と課題（令和８年８月25日現在 暫定版）

〈参考資料〉

- (1) 令和８年茨木市スポーツに関する市民意識調査 結果概要（速報）
- (2) スポーツ関係団体アンケート結果（速報）
- (3) 小中学校アンケート結果概要（速報）

第二期茨木市スポーツ推進計画策定に向けて

背景

【国の動き】

●スポーツ基本法改正（令和7年9月）

1 前文・基本理念

【社会課題の解決】

- (1) スポーツによる地域振興の推進
- (2) スポーツによる健康で活力に満ちた社会の実現
- (3) スポーツによる共生社会の実現
- (4) スポーツと文化芸術等の他の分野との連携

【ウェルビーイングの向上】

- (5) ウェルビーイングの向上
- (6) スポーツに親しむことのできる機会の確保等

2 基本施策の充実

- (1) 発達段階に応じたスポーツの推進
- (2) 部活動の地域展開等
- (3) 気候変動への対応についての留意
- (4) デジタル技術の活用等（スポーツDX、eスポーツ）
- (5) まちづくりと一体的なスポーツ施設の整備等（スポーツコフレックス）
- (6) 多様な需要に応じたスポーツを楽しむ機会等の確保（スポーツバリエーション）
- (7) スポーツの公正及び公平の確保（スポーツインテグリティの確保）

●第4期スポーツ基本計画の策定の動き（令和9年4月策定予定）

【ねらい】

スポーツの「楽しさ」で人や地域の可能性を引き出し、未来を切り拓く

【重点課題】

- ①国民のスポーツ実施促進と「健康インフラ」構築を通じた、ウェルビーイングの向上や経済成長・豊かな社会の実現への貢献
 - ・スポーツの「楽しさ」を軸とした多様なスポーツの推進
 - ・ライフステージに着目したスポーツ実施率向上のための施策の推進
 - ・多様な背景に着目したスポーツ施策の推進（女性、障害者）
 - ・スポーツ施策の位置付けの強化の推進
 - ・スポーツ実施を促す環境整備のための施策の推進
- ②ハイクォリティの追求とアスリート等を取り巻く環境整備による成果・知見の社会への還元
 - ・スポーツ医・科学、情報等による多面的で高度な支援の実現
 - ・スポーツ・インテグリティの強化
 - ・キャリア形成支援、アスリートの特性を生かした組織の活性化
- ③スポーツの意義や価値を生かしたスポーツの地域・社会への貢献
 - ・スポーツの成長産業化
 - ・地域スポーツ資源の活用
 - ・スポーツを通じた国際交流・協力の推進

【大阪府の動向】

・第4次スポーツ推進計画（令和9年度～）策定中（下記、骨子案たたき台）

【めざすべきスポーツ像】

持続可能なスポーツ都市 OSAKA
～全ての人がウェルビーイングを感じられるまちへ～

【基本理念】

- 府が有する資源を活用した持続可能なスポーツ振興
- スポーツを通じて誰もが健康と幸福を享受
- スポーツにより世界中の人が集まる楽しい都市へ

【施策の柱と施策項目】

- 1 誰もがスポーツに親しむことのできる社会の実現
 - ・ライフステージに応じた機会の提供
 - ・スポーツに親しむ機会の創出による心身の健康
 - ・スポーツ環境づくりによる共生社会の実現
 - ・スポーツコミッションによる生涯スポーツの推進
- 2 地域資源を活用したスポーツによる楽しいまちづくり
 - ・様々な形のスポーツツーリズムの推進
 - ・スポーツコミッションによる活力あるまちづくりの推進
 - ・産業連携等によるスポーツを通じた地域の活性化
 - ・大規模スポーツイベント等の開催による賑わい創出

現茨木市スポーツ推進計画 施策体系

◆基本理念

すべての市民がいつでも・どこでも・いつまでもスポーツに親しみ、
健康で豊かに暮らせるまちづくり
～市民のスポーツの推進と生涯スポーツ社会の実現をめざして～

◆基本目標

◆施策の方向性

1 健康増進・生きがいづくりにつながる生涯スポーツの推進	(1) 多様な生涯スポーツの普及・啓発
	(2) スポーツを通じた健やかな子どもの育成
	(3) 成人のスポーツへの参加機会の充実
	(4) 高齢者スポーツの推進
	(5) 障害者スポーツの推進
2 人材育成と施設整備によるスポーツ環境の充実	(1) 地域スポーツの推進
	(2) スポーツを支える人材の育成と支援
	(3) スポーツ施設の整備・充実
	(4) 連携と協働による生涯スポーツの活性化

計画骨子案検討にあたっての考え方

【国の動きを踏まえた視点】

- ①スポーツ基本法改正では、スポーツによる地域振興の推進をはじめ、健康で活力に満ちた社会の実現、共生社会の実現といった社会課題の解決やウェルビーイングの向上等が示されている。
- ②国の第4期スポーツ基本計画策定の中間報告において、「スポーツの「楽しさ」で人や地域の可能性を引き出し、未来を切り拓く」といった方向性が示され、「スポーツ」と「地域」を結び付けた考え方が示されている。
- ③ライフステージに着目したスポーツの推進として、よりターゲット層を明確にした取組を進めていくことが示されている。
- ④スポーツ基本法改正では、まちづくりと一体的なスポーツ施設の整備について定められており、スポーツ施設の整備及び活用に当たっては、スポーツ施設、他の施設及び周辺地域の総合的かつ複合的な整備並びにスポーツ産業の事業者、その他関係者との連携により、まちづくりと一体的な推進を図り、活力ある地域社会の形成に資するよう努めることが示されている。

【市の総合計画・方針などを踏まえた視点】

- ①第6次総合計画において、多様な主体の活動が掛け合わせられることで、新たなモノやコトが相乗効果により生み出される「共創」のまちづくりを進めており、スポーツを活かして多様な主体との連携を想定した「共創」のまちづくりの推進。
- ②多目的運動広場の整備が進むいばきたダムパークをはじめ、地域の魅力向上による活動人口の増加、多様な人々の交流により地域の活性化に向けた取組を進めており、スポーツを通じた市外の人とも交流を促進していく。
- ③公共施設最適化方針において、公共施設は施設の老朽化や将来の高齢化・人口減少を見据え、施設総量やコストの最適化と施設の魅力向上を図り、まちの持続的発展の実現を目指すものとされており、スポーツ施設におけるまちの持続的発展を意識した整備・充実を図っていく。
- ④現計画の実績、成果指標に基づいた分析と評価、さらに課題の抽出の上、見直していく。

計画骨子（案）

施策体系（案）

◆基本理念

だれもがいつでも・どこでも・いつまでもスポーツを楽しみ、
健康で豊かに暮らせるまちづくり
～市民のスポーツの推進と生涯スポーツ社会の実現をめざして～

◆基本目標

◆施策の方向性

1 健康増進・生きがいづくりにつながる生涯スポーツの推進	(1) 多様な生涯スポーツの普及・啓発
	(2) スポーツを通じた健やかなこどもの育成
	(3) 子育て・働き盛り世代のスポーツ推進
	(4) 高齢者スポーツの推進
	(5) 障害者スポーツの推進
2 人材育成とスポーツを活かした地域の活性化	(1) 地域スポーツの推進
	(2) スポーツを支える人材の育成と支援
	(3) 多様な主体との連携による生涯スポーツの活性化
3 まちの持続的発展につながるスポーツ環境の整備・充実	(1) スポーツ施設の最適化・有効活用
	(2) まちづくりと連携したスポーツ環境の整備

現計画後期における施策の実績と課題（令和 8 年 8 月 25 日現在 暫定版）

基本目標 1 健康増進・生きがいづくりにつながる生涯スポーツの推進

【基本目標の達成に向けた取組】

- ・運動実施率や地域スポーツ団体の認知度向上等、市民意識の面からも裾野拡大を推進
- ・生涯スポーツ社会の実現に向け、情報発信やニュースポーツの普及・啓発や、こどものスポーツ機会の充実、働き世代・子育て世代・高齢者の健康づくり、障害の有無を問わない交流機会の拡大

【成果指標】

指標	策定時	現状値	目標値	資料
週 1 回以上運動やスポーツに取り組む市民の割合	40%	49%	50%	市民意識調査
今後、運動やスポーツを始めてみたいと思っている市民の割合	55%	61%	65%	市民意識調査
市内で活動しているスポーツ団体を知っている市民の割合	36%	32%	50%	市民意識調査

施策の方向性 1 多様な生涯スポーツの普及・啓発

【実績】

- ・広報誌・HP・SNS 等による情報発信、「スポーツ推進期間」（10 月）を通じた啓発
- ・体育協会等関係団体との連携、トップアスリート支援事業による市にゆかりがある選手の応援気運の醸成
- ・ボッチャ体験会等ニュースポーツの普及により、誰もが参加できる機会を充実

【施策の方向性（1）成果指標】

指標	策定時	現状値	目標値	資料
運動やスポーツに参加するため、情報を入手している市民の割合	55%	69%	70%	市民意識調査

【課題】

- ・情報が届きにくい層への周知強化が必要
- ・地区体育祭の全地区開催や、共生社会につながるニュースポーツ普及の推進が課題

施策の方向性 2 スポーツを通じた健やかな子どもの育成

【実績】

- ・こどもがスポーツに親しむ機会として、「キッズスポーツフェスタ」、放課後子ども教室（市内全 32 校区）、総合型地域スポーツクラブなどの各スポーツ教室の実施や「茨木っ子運動」の活用、小 3～中 3 の体力テストを体育授業改善に活用
- ・部活動指導員の配置、地域クラブでの実証事業など部活動の地域展開に向けた検討を推進

【施策の方向性（2）成果指標】

指標	策定時	現状値	目標値	資料
市民総合スポーツ大会参加者数（高校生以下）	7,245 人	6,198 人※	8,000 人	スポーツ推進課

（※）現状値は令和 7（2025）年度の数値

【課題】

- ・市民総合スポーツ大会参加者数（高校生以下）は目標未達、参加のきっかけづくりが必要
- ・部活動の地域展開は実証段階、指導者確保と持続可能な運営体制の構築が課題

施策の方向性 3 成人のスポーツへの参加機会の充実

【実績】

- ・月 4 回のニュースポーツ教室や新体力テストの実施、「アスマイル・いばらき健活ポイント事業」等によりスポーツを気軽に楽しむ機会を提供
- ・夜間ヨガ教室、ニュースポーツ教室、謎解きウォーキング等で働き世代・子育て世代の参加を後押し
- ・総合型地域スポーツクラブによる働き世代向け教室の開催など、10 代後半～50 代の会員拡大の取組

【施策の方向性（3）成果指標】

指標	策定時	現状値	目標値	資料
総合型地域スポーツクラブの 20 歳代～50 歳代の会員数	512 人	495 人※	700 人	スポーツ推進課

（※）現状値は令和 7（2025）年度の数値

【課題】

- ・総合型地域スポーツクラブの 20～50 代会員数は伸び悩み、目標未達
- ・時間の確保が難しい子育て・働き世代向けの参加しやすいプログラムの充実が必要

施策の方向性 4 高齢者スポーツの推進

【実績】

- ・高齢者の運動・スポーツの機会として、老人クラブと連携したニュースポーツ大会等の実施や、長寿介護課と連携して「介護予防教室」の開催や「元気！いばらき体操」の普及を推進
- ・コミュニティデイハウス等の介護予防事業、短期集中運動教室を継続実施

【施策の方向性（4）成果指標】

指標	策定時	現状値	目標値	資料
週 1 回以上運動やスポーツに取り組む 60 歳以上の市民の割合	47%	59%	60%	市民意識調査

【課題】

- ・60 歳以上の週 1 回以上運動実施率は目標に近づき、運動習慣は着実に定着
- ・身近な参加機会の維持・拡充、老人クラブ等担い手の確保・育成が課題

施策の方向性 5 障害者スポーツの推進

【実績】

- ・「ボッチャ交流大会」を基軸に、障害の有無にかかわらず楽しめるスポーツを普及
- ・スポーツ推進委員協議会・老人クラブ連合会・追手門学院大学、茨木支援学校との連携を推進
- ・「ボッチャ体験会」「やってみよう運動会」「やってみよう教室」の継続や初級障害者スポーツ指導員の資格取得を支援

【施策の方向性（5）成果指標】

指標	策定時	現状値	目標値	資料
障害のある人とないない人のスポーツ交流会の参加者数	42 人	119 人※	100 人	スポーツ推進課

（※）現状値は令和 7（2025）年度の数値

【課題】

- ・ボッチャ交流大会の障害のある方の参加割合は増加傾向にあるが、更なる参加者増が望まれる
- ・指導者・ボランティアの確保育成、障害特性に応じたプログラムの充実が課題

基本目標 2 人材育成と施設整備によるスポーツ環境の充実

- 【基本目標の達成に向けた取組】
- ・総合型地域スポーツクラブの主催事業や各スポーツ教室の普及啓発により会員募集を支援
 - ・スポーツ関係団体や大学・企業等との連携による指導者研修を実施し、指導力向上を支援
 - ・老朽化するスポーツ施設の計画的な改修・利便性向上、学校体育施設の開放

【成果指標】

指標	策定時	現状値	目標値	資料
総合型地域スポーツクラブの会員数	1,477 人	1,394 人※	2,000 人	スポーツ推進課
スポーツボランティアに参加したことがあるまたはしたいと思っている市民の割合	19%	26%	30%	市民意識調査
公共スポーツ施設について満足と感じている市民の割合	79%	87%	85%	スポーツ推進課

（※）現状値は令和 7（2025）年度の数値

施策の方向性 1 地域スポーツの推進

- 【実績】
- ・総合型地域スポーツクラブへの育成支援（施設優先使用等）と指導者の資質向上を推進
 - ・公民館講座（卓球・グラウンドゴルフ・ボッチャ等）、「市民スポーツフェスティバル」を開催
 - ・地区体育祭の継続開催や、運動・スポーツに関する相談支援体制の充実に取組

【施策の方向性（1） 成果指標】

指標（市民の割合）	策定時	現状値	目標値	資料
総合型地域スポーツクラブ運営団体数	2 団体	2 団体※	3 団体	スポーツ推進課

（※）現状値は令和 7（2025）年度の数値

- 【課題】
- ・総合型地域スポーツクラブ運営団体数は横ばいで目標未達、新規設立・運営基盤強化の支援が必要
 - ・地区体育祭も全地区開催に至っておらず、担い手確保を含めた地域主体の環境づくりが課題

施策の方向性 2 スポーツを支える人材の育成と支援

- 【実績】
- ・スポーツ推進委員の公募、指導者向け講習会（熱中症対策等）を継続実施し、研修会参加支援や初級障害者スポーツ指導員の資格取得を啓発
 - ・出前・出張講座等でスポーツボランティアの確保・育成にも取組

【施策の方向性（2） 成果指標】

指標	策定時	現状値	目標値	資料
ニュースポーツの普及・指導を行っているボランティア団体の会員数	15 人	0 人※ （解散）	30 人	スポーツ推進課

（※）現状値は令和 7（2025）年度の数値

- 【課題】
- ・ニュースポーツの普及に取り組む団体の開催等、担い手不足や人材の高齢化等、スポーツを支える人材の確保は依然として課題
 - ・公認スポーツ指導者の育成に加え、イベント運営等を担う新たな担い手の発掘・育成が必要

施策の方向性 3 スポーツ施設の整備・充実

- 【実績】
- ・熱中症予防・災害時対応で体育館アリーナへの空調整備、多目的トイレ整備等バリアフリー化を推進
 - ・西河原・五十鈴市民プール、市民体育館、忍頂寺スポーツ公園等の計画的な改修・修繕を実施
 - ・安威川ダム周辺の多目的運動広場整備に着手、学校体育施設等の地域開放も継続

【施策の方向性（3） 成果指標】

指標	策定時	現状値	目標値	資料
公共体育施設の整備か所数（多目的トイレの設置か所数）	10 か所	12 か所※	13 か所	スポーツ推進課

（※）現状値は令和 7（2025）年度の数値

- 【課題】
- ・公共体育施設について、避難所としての活用も踏まえた多角的な視点での整備が必要
 - ・公共施設の老朽化が進む中、人口減少や維持更新費用増を踏まえ、スポーツ施設の管理・運用方針の具体化が必要

施策の方向性 4 連携と協働による生涯スポーツの活性化

- 【実績】
- ・「キッズスポーツフェスタ」「ボッチャ交流大会」等で体育協会・老人クラブ連合会、ガンバ大阪・大学等と連携
 - ・追手門学院大学「地域スポーツ人材育成コンソーシアム」への参画、立命館大学等との連携も拡大
 - ・大阪成蹊大学と連携したご当地スポーツの実施など新たな連携も模索

【施策の方向性（4） 成果指標】

指標	策定時	現状値	目標値	資料
企業・大学等所属選手によるスポーツ教室等の実施回数	0 回	1 回	2 回	スポーツ推進課

（※）現状値は令和 7（2025）年度の数値

- 【課題】
- ・連携イベントは活発だが、企業・大学等所属選手によるスポーツ教室の実施回数は目標未達
 - ・所属選手による指導など、具体的な連携の検討が必要
 - ・市内外との関係団体との協働を継続し、地域スポーツの活性化につなげていくことが必要

令和8年 茨木市スポーツに関する市民意識調査 結果概要(速報)

1. 調査概要

市民の健康や運動・スポーツについての現状と意見を聞き取り、今後の施策推進の参考とするため実施した。

調査方法	アンケート調査（調査票郵送、郵送またはWEB 回答）
調査対象	18 歳以上の市民 2,000 人（住民基本台帳からの無作為抽出）
調査期間	令和 8 年 7 月 25 日（土）～令和 8 年 8 月 10 日（月）
有効回答数	634 件※（郵送回答：224 件、WEB 回答：410 件） 有効回答率 31.7% ※8/25 現在入力分

2. 調査結果

【回答者属性】

■ 性別（％）						■ 職業（％）	
	男性	女性	その他	無回答	不明・無回答	職業	比率(%)
比率(%)	37.5	60.3	0.0	0.9	1.3	正社員・フルタイム	37.4
						パート・アルバイト	13.7
						自営業（家業手伝い含む）	4.3
						専業主婦・主夫	13.6
						年金受給者	19.7
						学生	3.2
						無職・求職中	6.5
						その他	1.3
						不明・無回答	0.5

■ 区別（％）

	養精中 学校区	西中 学校区	東中 学校区	豊川中 学校区	南中 学校区	三島中 学校区	北中 学校区	東雲中 学校区
比率(%)	12.5	9.0	9.3	2.2	8.4	7.9	5.7	6.8
	天王中 学校区	西陵中 学校区	北陵中 学校区	平田中 学校区	太田中 学校区	彩都西中 学校区	不明・ 無回答	
人数(%)	7.9	10.1	3.8	5.2	5.5	4.4	1.4	

■ 年代別（％）

	10 歳代	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代	80 歳代	90歳 以上	不明・ 無回答
比率(%)	1.6	7.6	12.3	15.1	19.4	14.5	18.5	10.3	0.6	0.2

■ 家族構成（％）

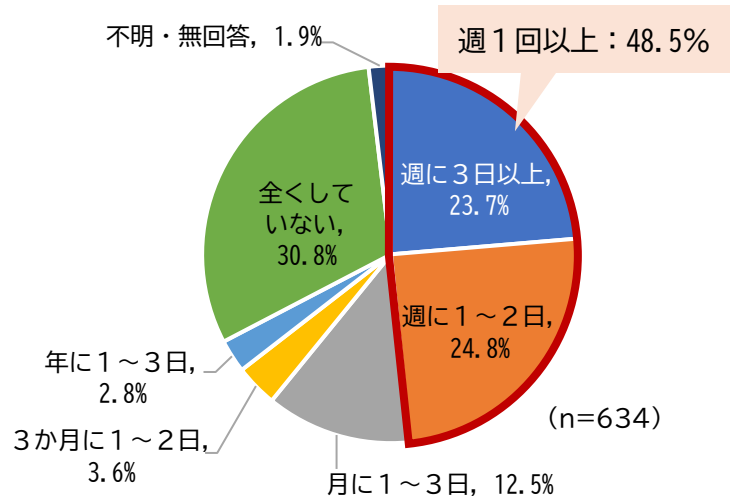
	一人暮らし	夫婦（または パートナー） のみ	親と子 （二世帯）	親・子・祖父 母（三世帯）	その他	不明・無回答
比率(%)	11.5	33.9	47.5	3.2	3.8	0.2

■ 末子の年齢（％）

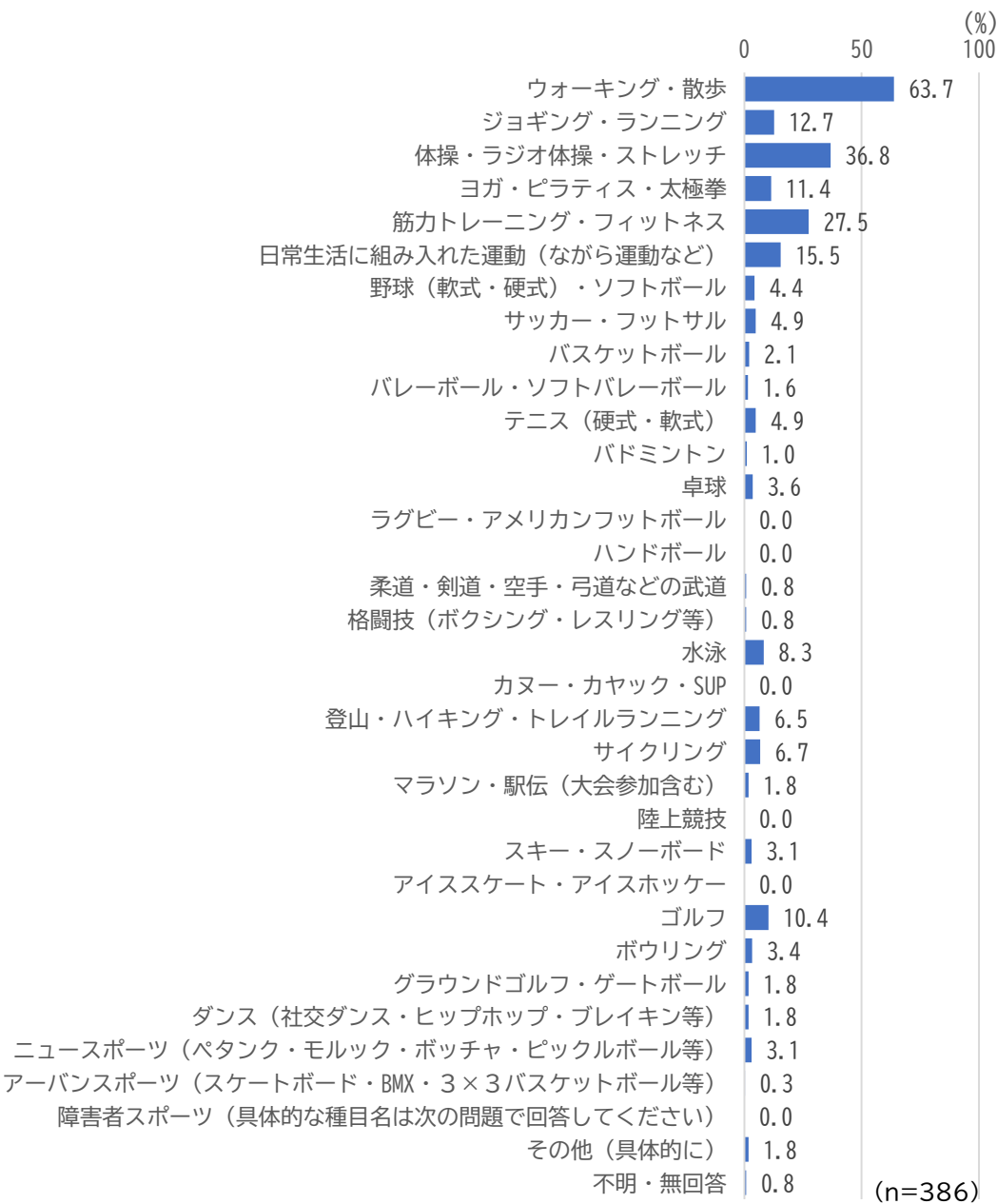
	未就学児 （0～6 歳）	小学生 （7～12 歳）	中学生 （13～15 歳）	高校生以上 （16 歳以上）	不明・無回答
比率(%)	18.4	13.1	8.4	57.3	2.8

【スポーツや運動の実施状況】

問6 あなたは、ふだん運動やスポーツをどの程度していますか

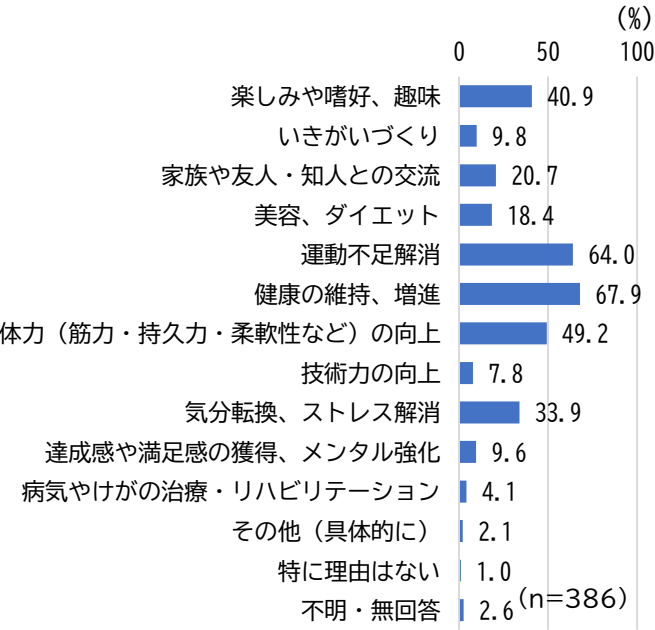


問7 この1年間に行った運動・スポーツは何ですか。（学校の体育の授業・職業として行ったものを除く）

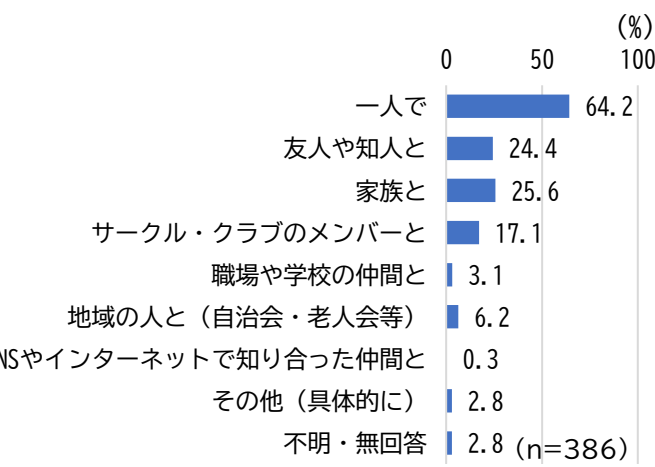


問7-1 問7で「32 障害者スポーツ」と回答した方にうかがいます。具体的な種目についてお答えください。
※該当者なし

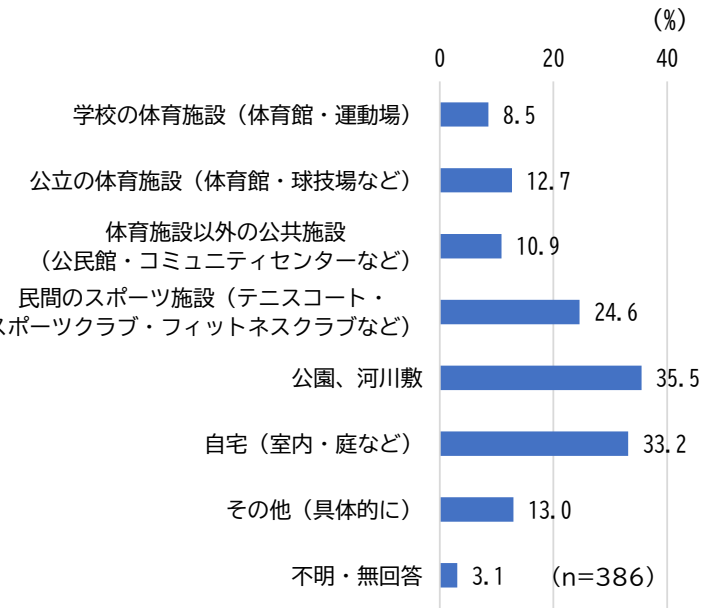
問8 運動やスポーツを行っている目的は何ですか。



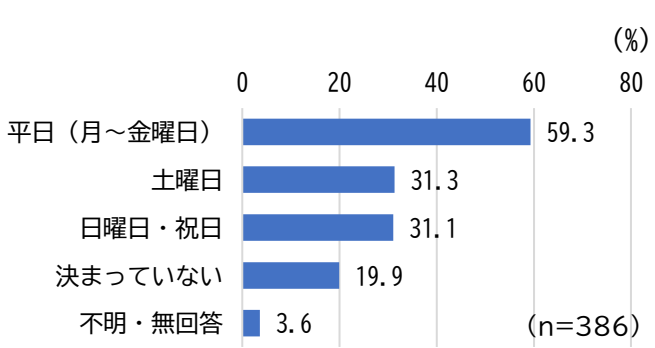
問9 主にどなたと一緒に運動・スポーツをしていますか。



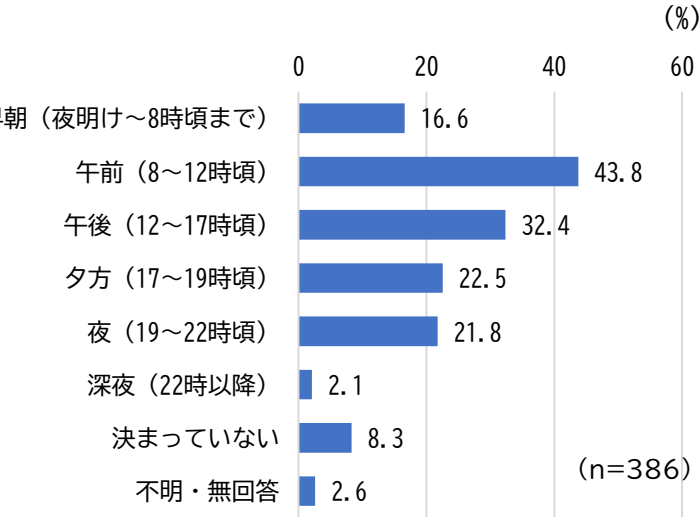
問10 ふだん、どこで運動やスポーツをしていますか



問11-1 運動・スポーツをよく行う日はいつですか。

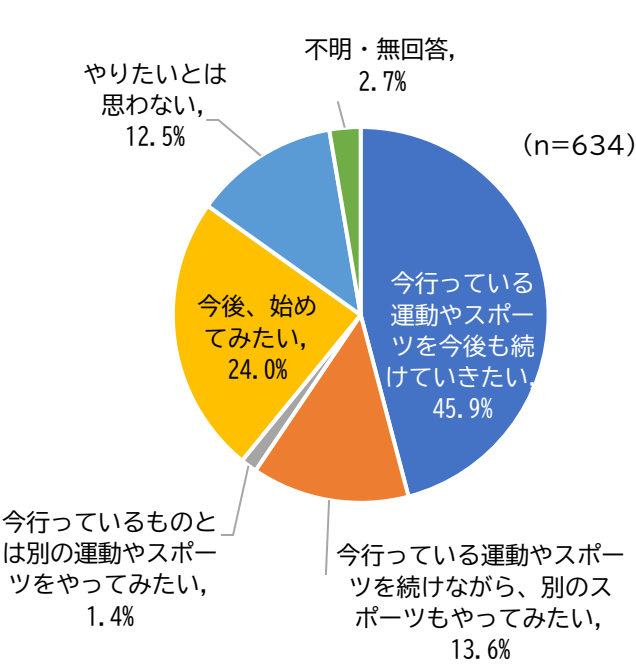
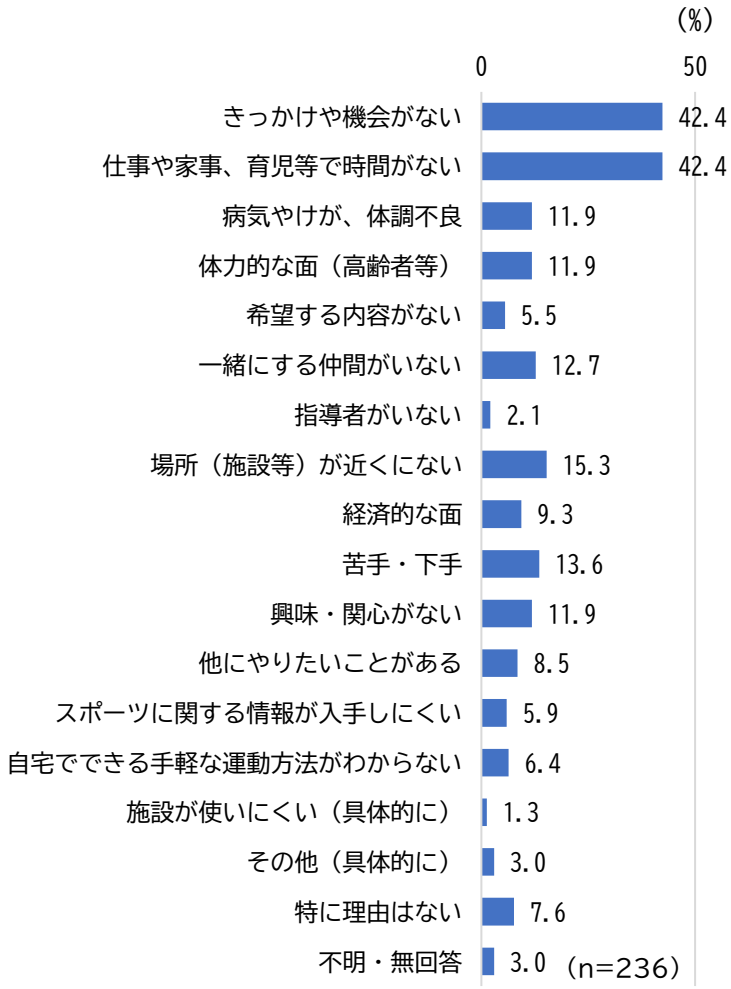


問11-2 運動・スポーツをよく行う時間帯はいつですか。



【今後の運動やスポーツに対する意向について】

問12 運動やスポーツをあまりしていない理由は何ですか。 問13 今後、運動やスポーツをやってみたい（続けていきたい）と思いますか。



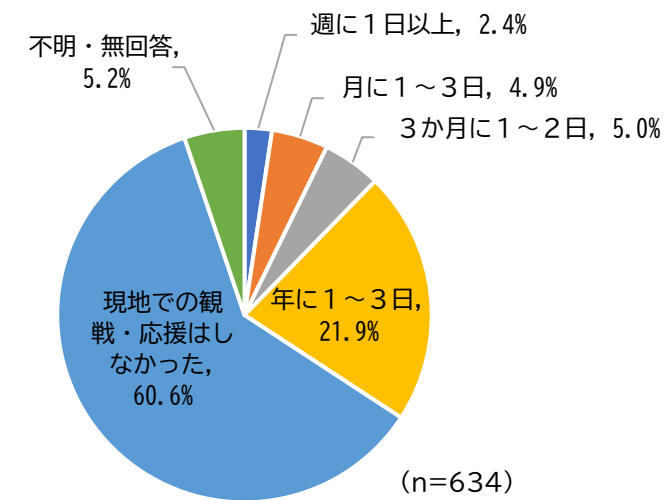
問 14 今やっている運動・スポーツを含め、今後やってみたいと思う運動・スポーツは何ですか。



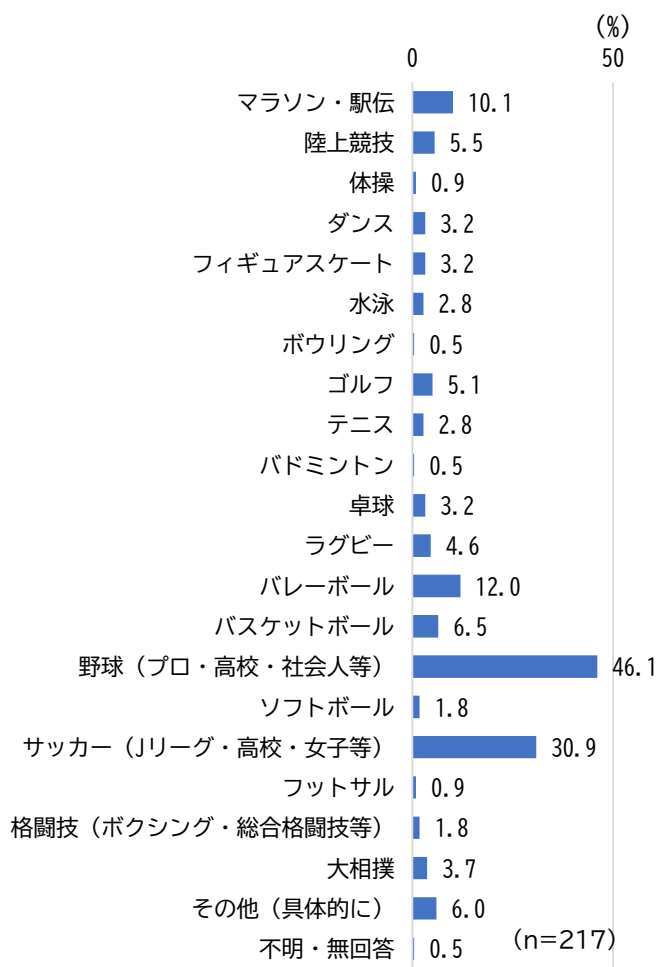
問 14-1 問 14 で「32 障害者スポーツ」と回答した方にうかがいます。具体的な種目についてお答えください。※回答なし

【スポーツの観戦・応援の状況について】

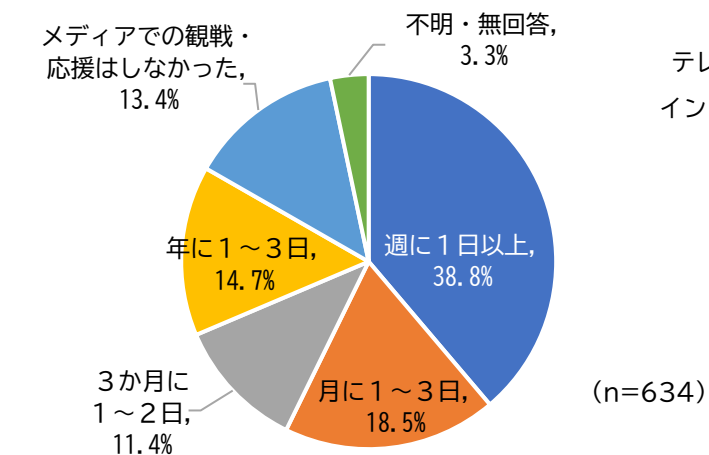
問 15-1 あなたはこの1年間に、競技場・体育館・沿道などで、スポーツを直接観戦・応援したことがありますか（プロ・アマ問わず）。



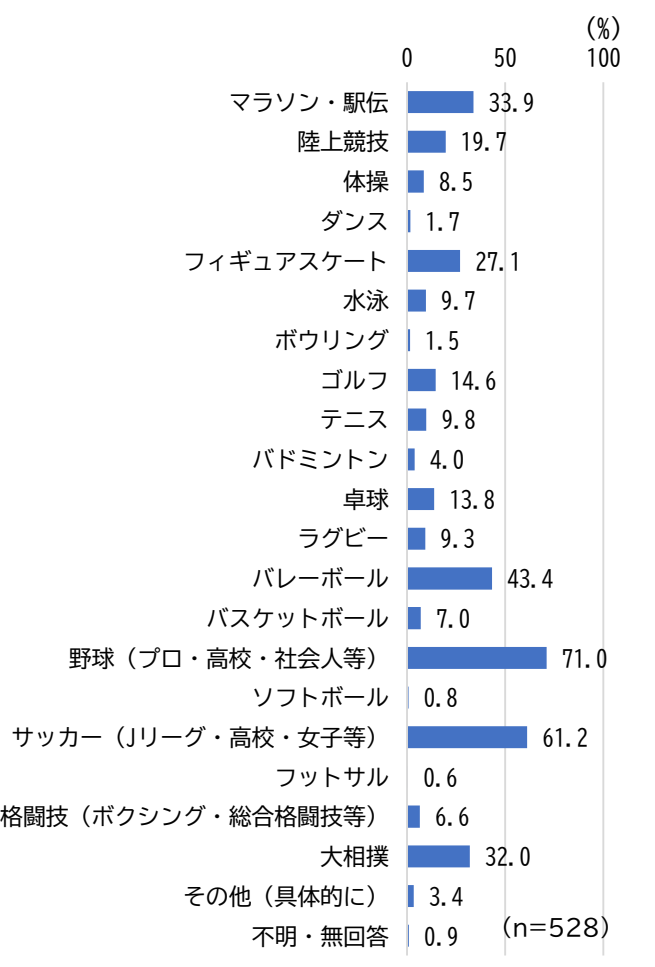
問 15-2 現地で直接観戦・応援したスポーツは何ですか。



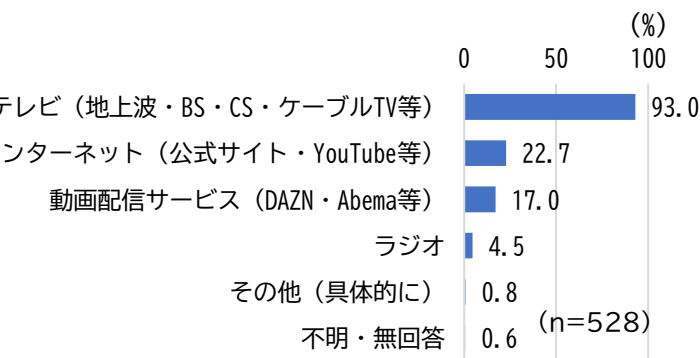
問 15-3 この1年間に、テレビ・インターネット・動画配信等でスポーツを観戦・応援したことがありますか（プロ・アマ問わず）。



問 15-4 メディアで観戦・応援したスポーツは何ですか。

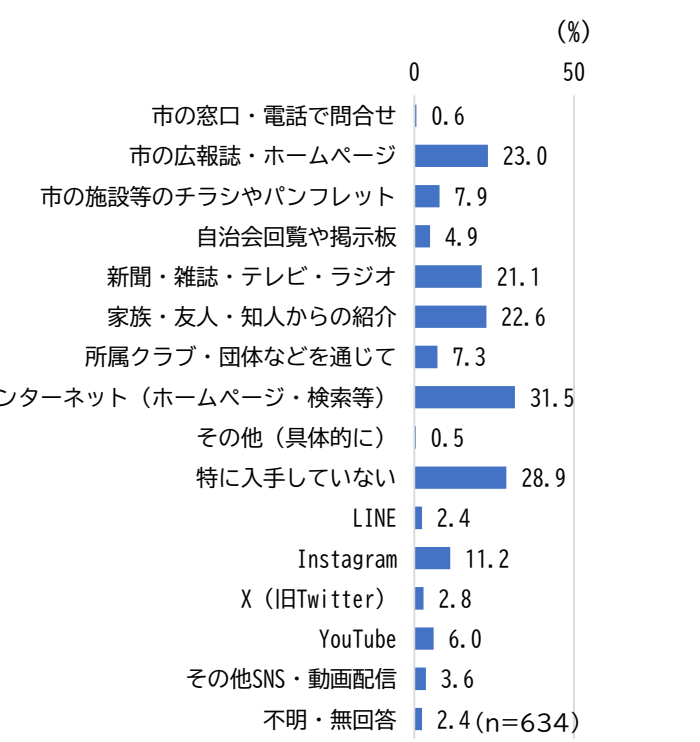


▼どのような手段で観戦・応援しましたか。



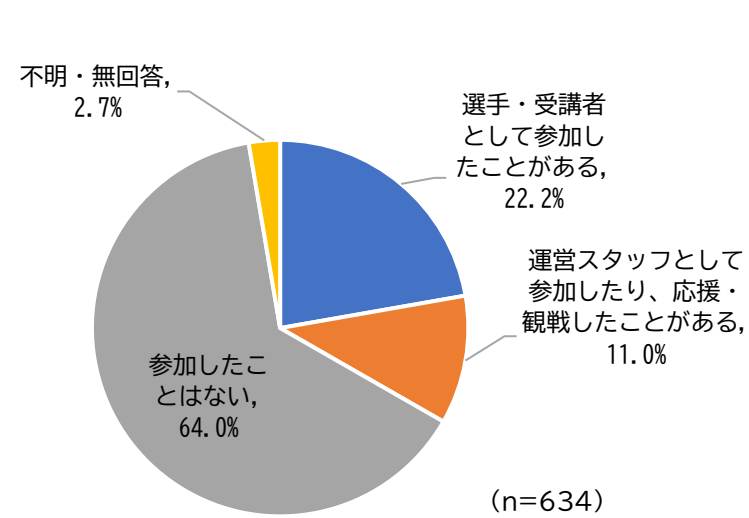
【運動やスポーツに関する情報について】

問 16 運動やスポーツに参加するための情報をどのようにして入手していますか。

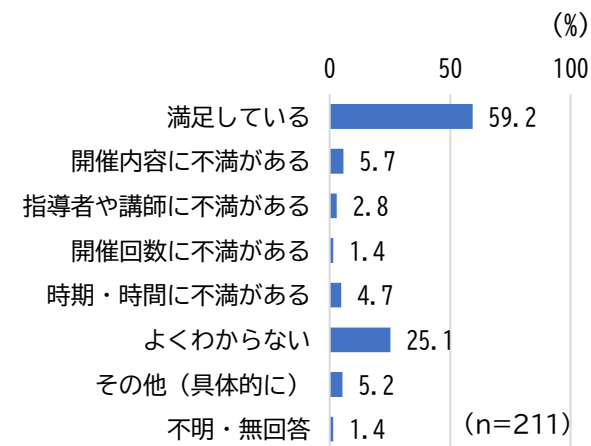


【スポーツ行事の参加経験について】

問 17 「スポーツ大会」「地域体育祭」「スポーツ教室」「講習会」などのイベント・行事に参加したことがありますか。

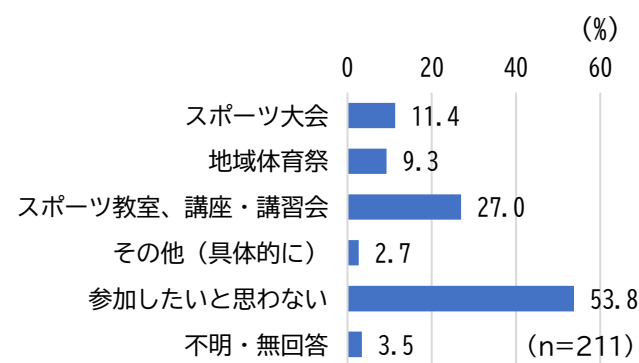


問 18 参加して、どのように感じていますか。

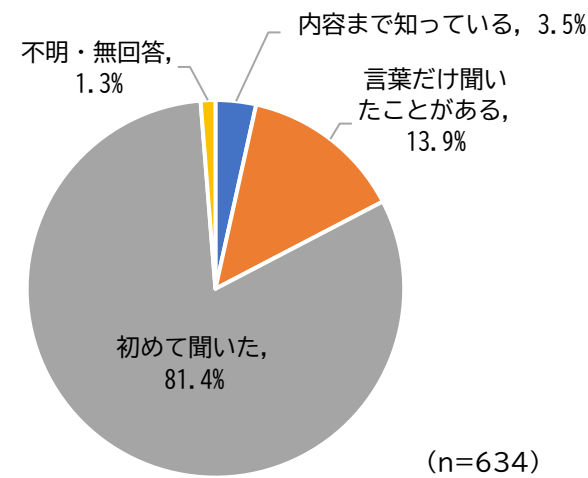


【スポーツクラブや同好会等への加入状況について】

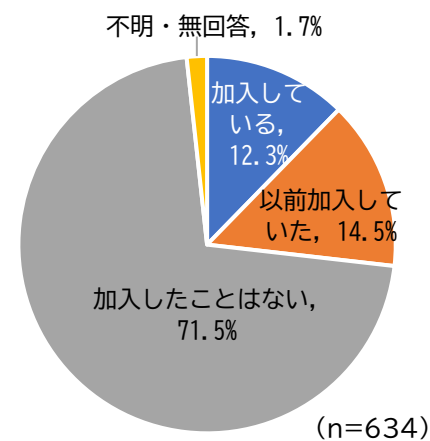
問 19 今後、参加してみたいスポーツの行事はありますか。



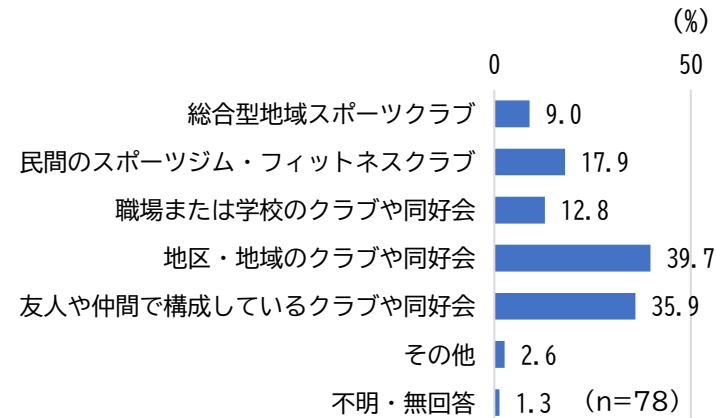
問 20 「総合型地域スポーツクラブ」を知っていますか。



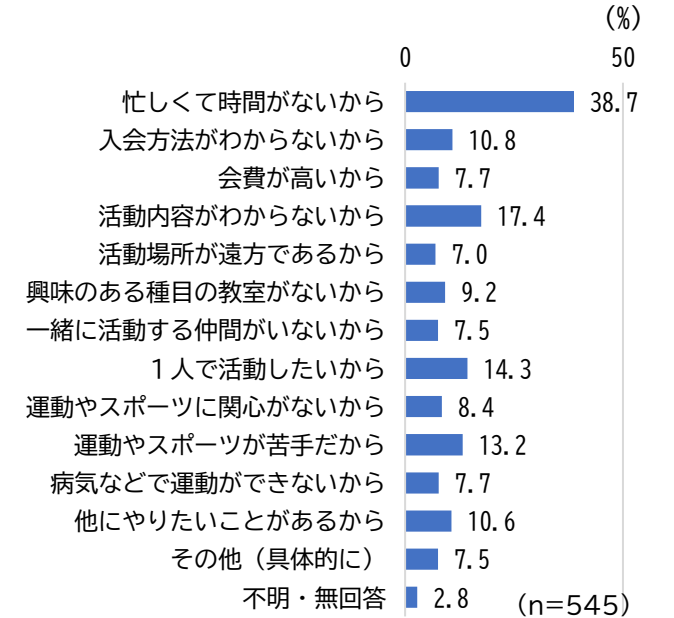
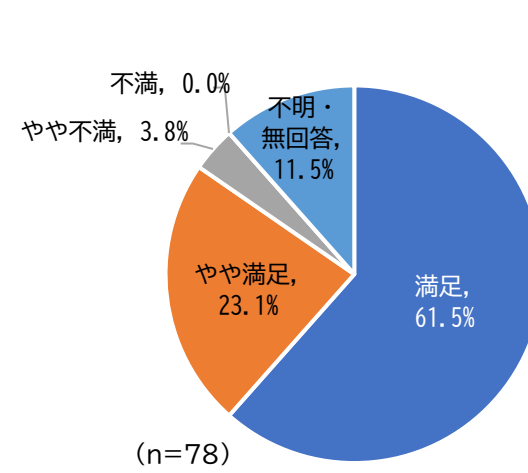
問 21 運動やスポーツに関するクラブや同好会などに加入していますか。



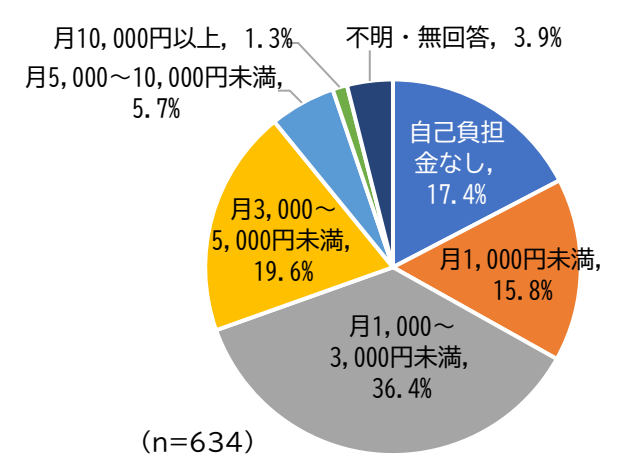
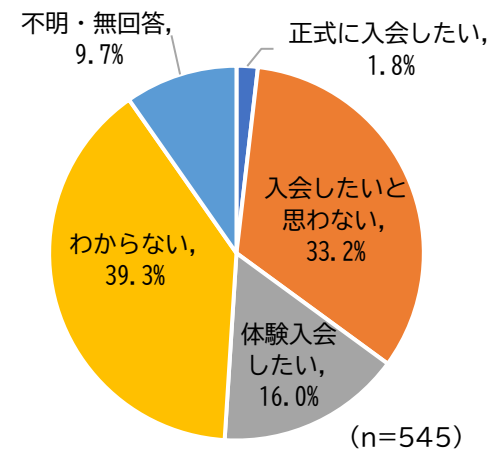
問 22 どのようなクラブや同好会などに加入していますか。



問 23 加入しているクラブや同好会などに満足していますか。問 24 クラブや同好会などに入会していない理由は何ですか。

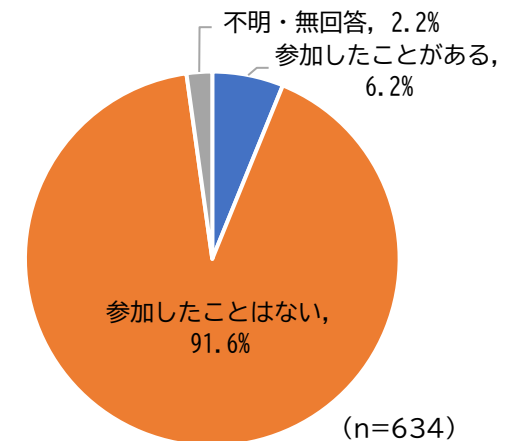


問 25 今後、クラブや同好会などに入会したいと思いますか。問 26 クラブや同好会、教室へ加入する費用として、1か月にどのくらいまでなら負担してもよいと考えていますか。

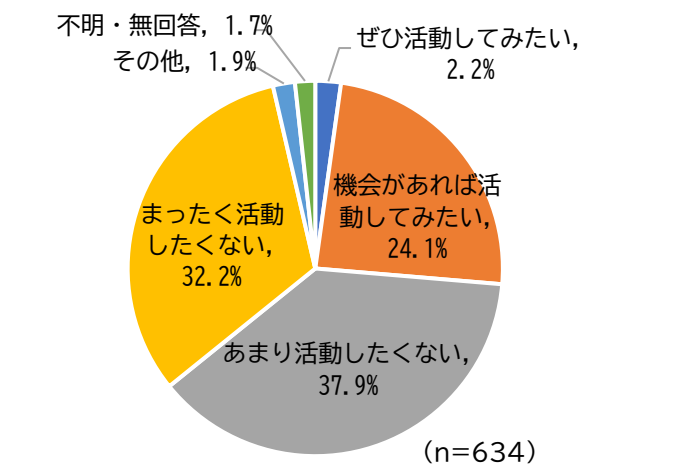


【スポーツに関わるボランティア活動について】

問 27 過去1年間に運動・スポーツに関わるボランティア活動に参加したことがありますか。

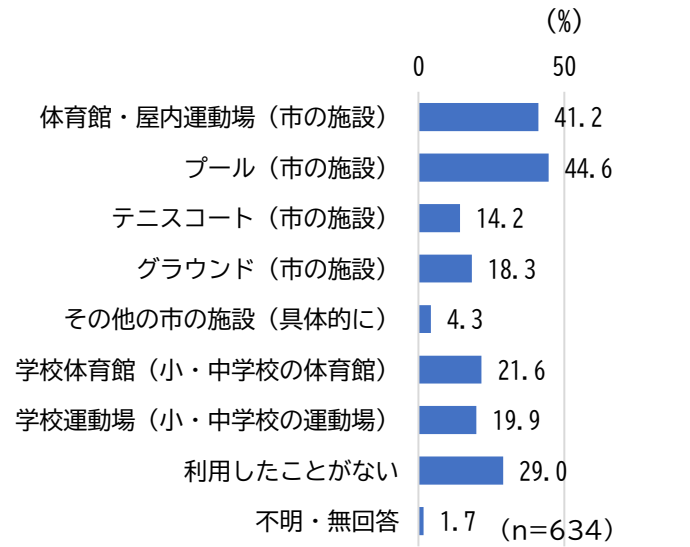


問 29 今後、スポーツに関わるボランティア活動をしてみたい又は続けたいと思いますか。

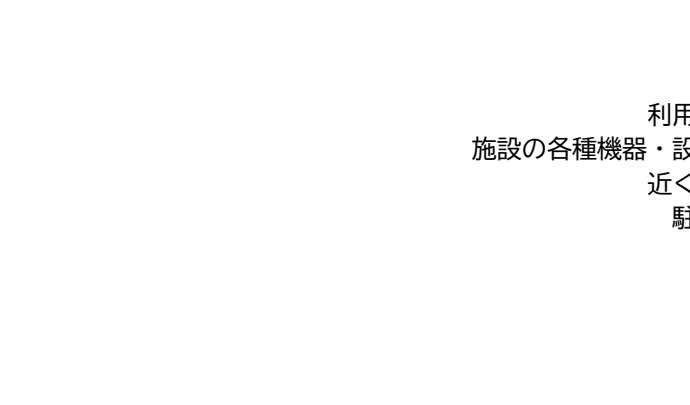


【市が管理・運営するスポーツ施設・学校体育施設について】

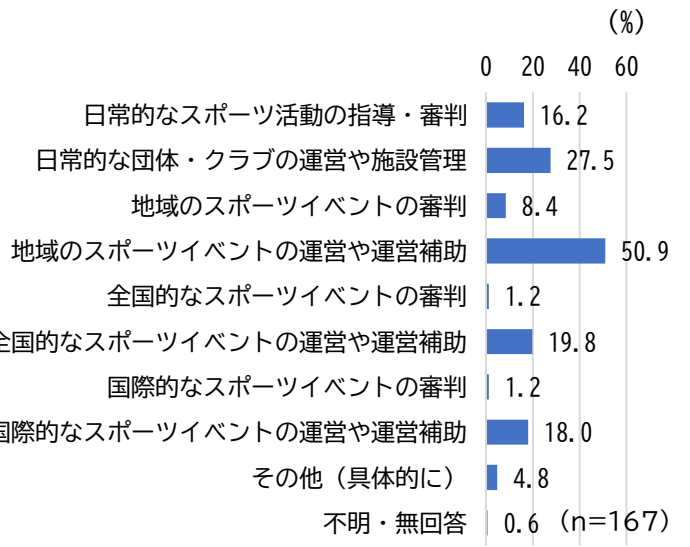
問 31 今まで、運動・スポーツ活動で利用したことがある施設に○印をつけてください。



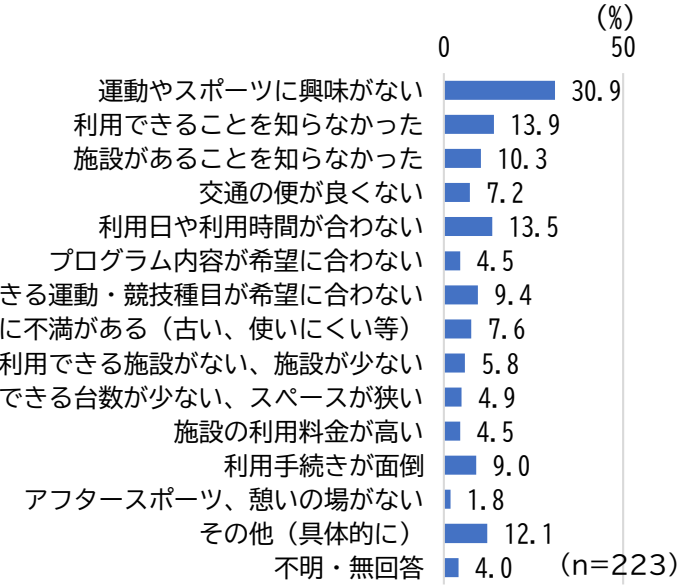
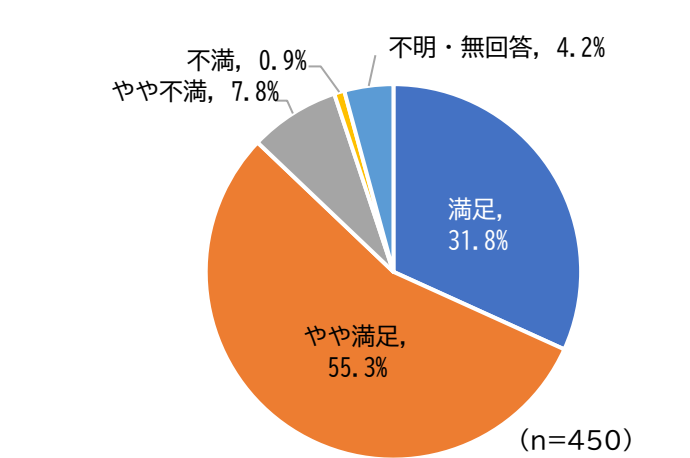
問 33 利用しない理由、または満足できないところはどのようなことですか。



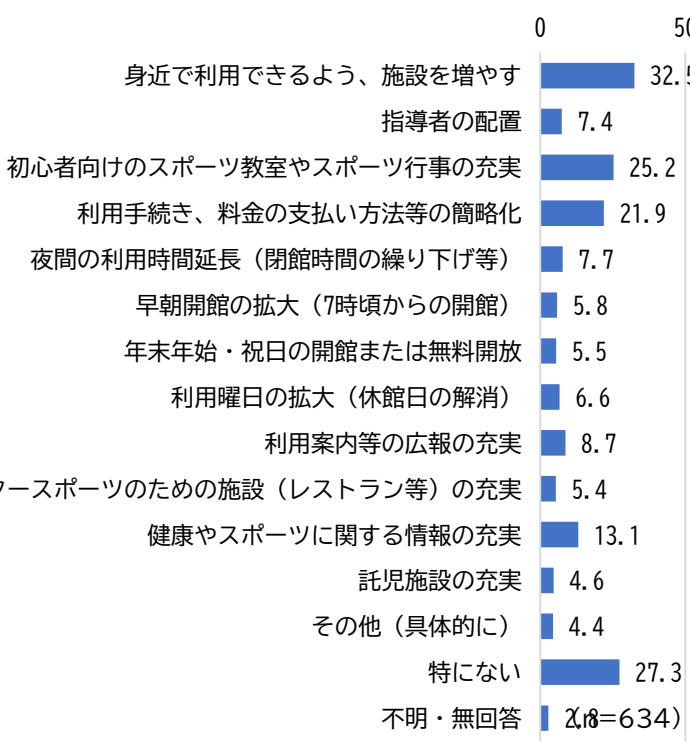
問 30 今後、スポーツに関わるどのようなボランティア活動をしてみたい又は続けたいと思いますか。



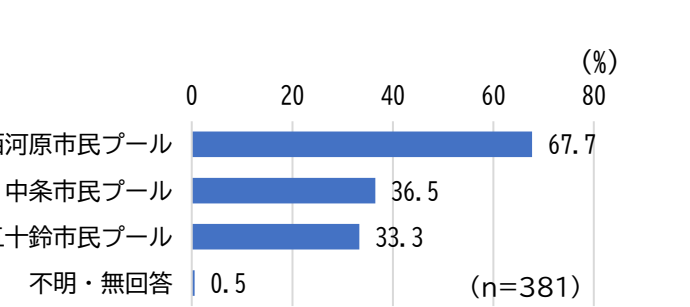
問 32 利用した施設について、全般にどの程度満足していますか。



問 34 スポーツ施設に対して、何か望むことがありますか。

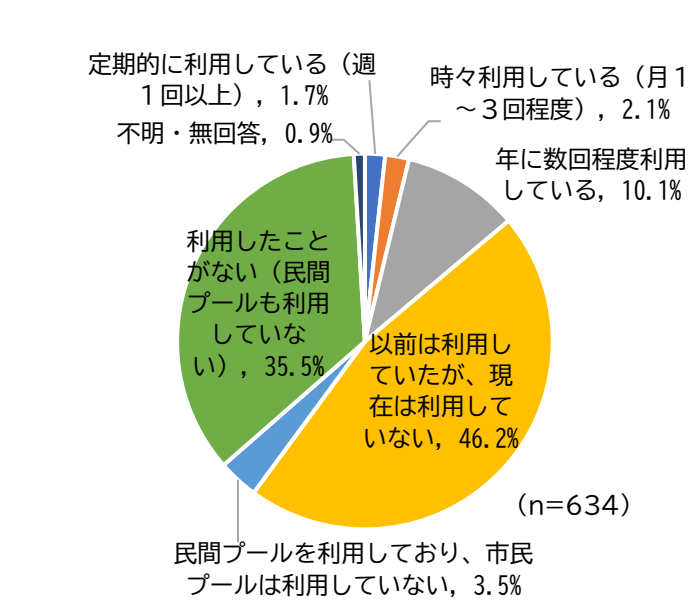


問 36 どの市民プールを利用していますか

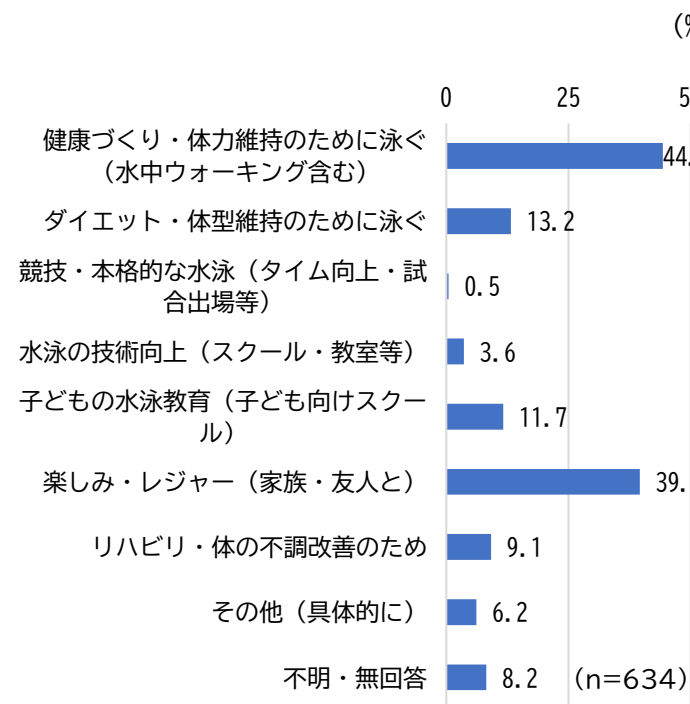


【市民プールの利用意向について】

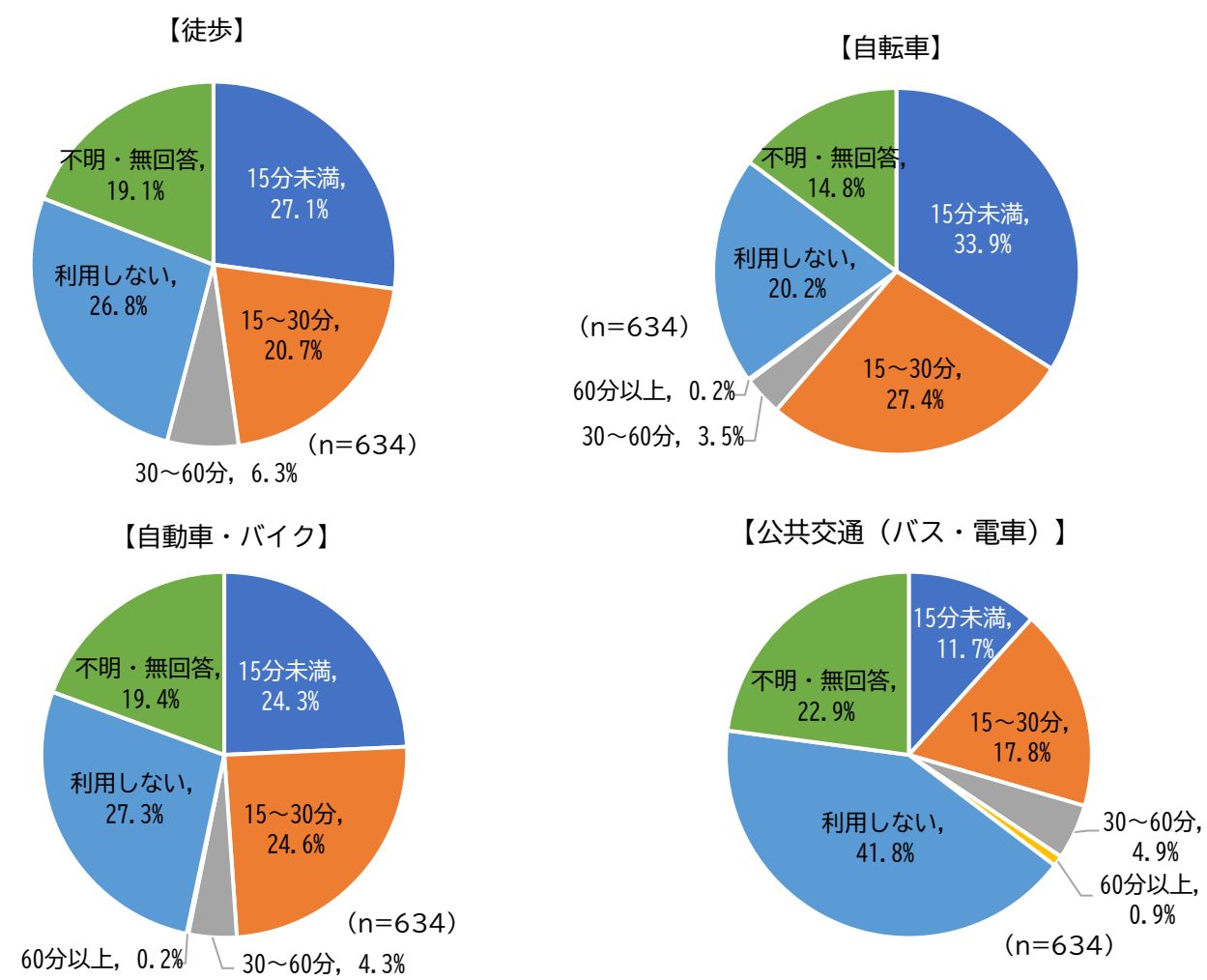
問 35 あなたはこれまでに茨木市の市民プールを利用したことがありますか。また、現在の利用頻度はどのくらいですか。



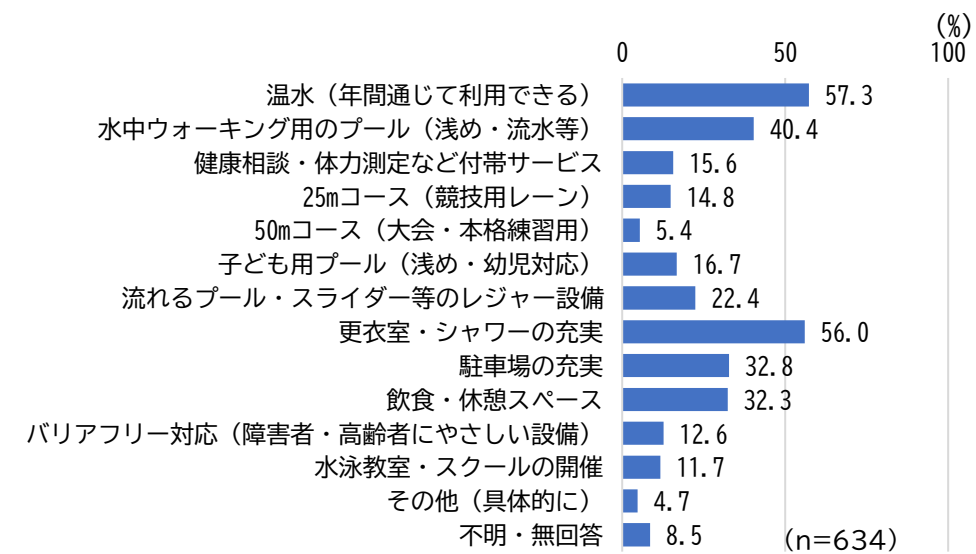
問 37 市民プールを利用する(したい)目的は何ですか。



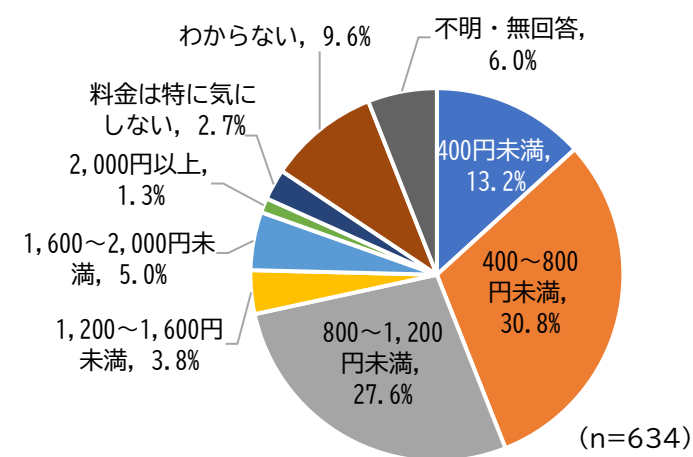
問 38 市民プールを利用するとした場合、どの交通手段で、どのくらいの時間をかけて行きますか。



問 39 市民プールに求める機能・設備について、当てはまるものをすべて選んでください。

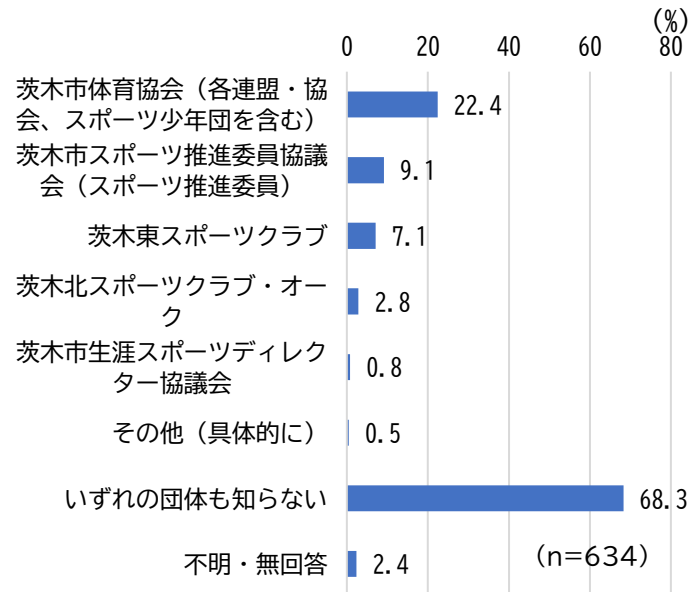


問 40 レジャープールを利用する際、許容できる料金の上
限はいくらですか (大人一人の場合)

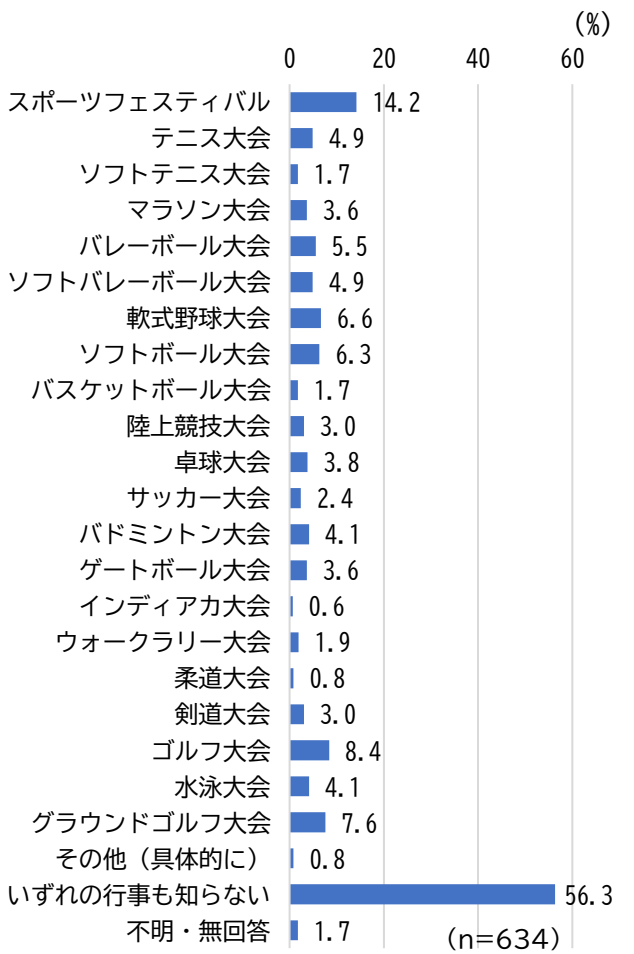


【茨木市内のスポーツ団体・行事について】

問 41 茨木市内で活動しているスポーツに関する団体で知
っているものに○印をつけてください。

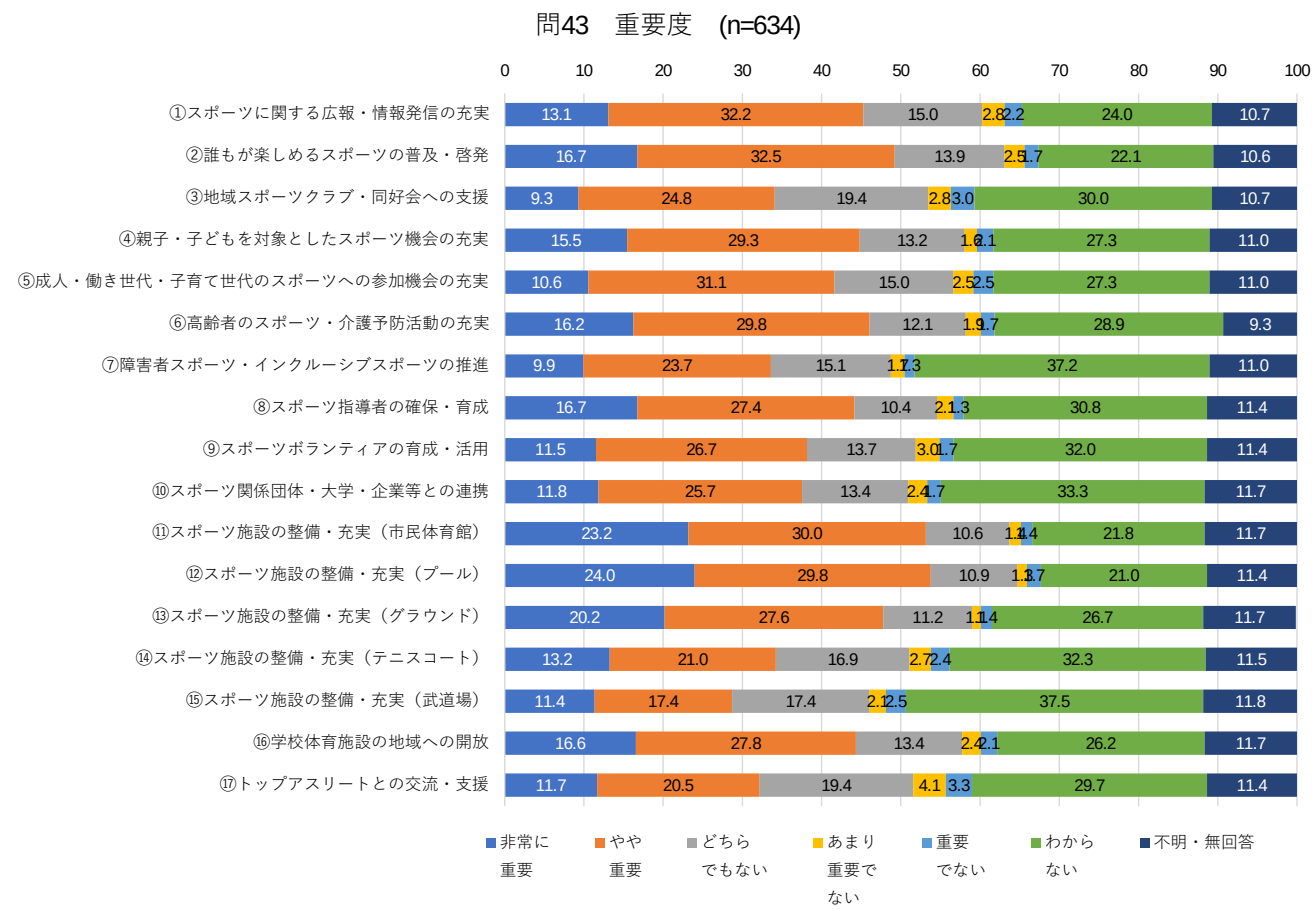
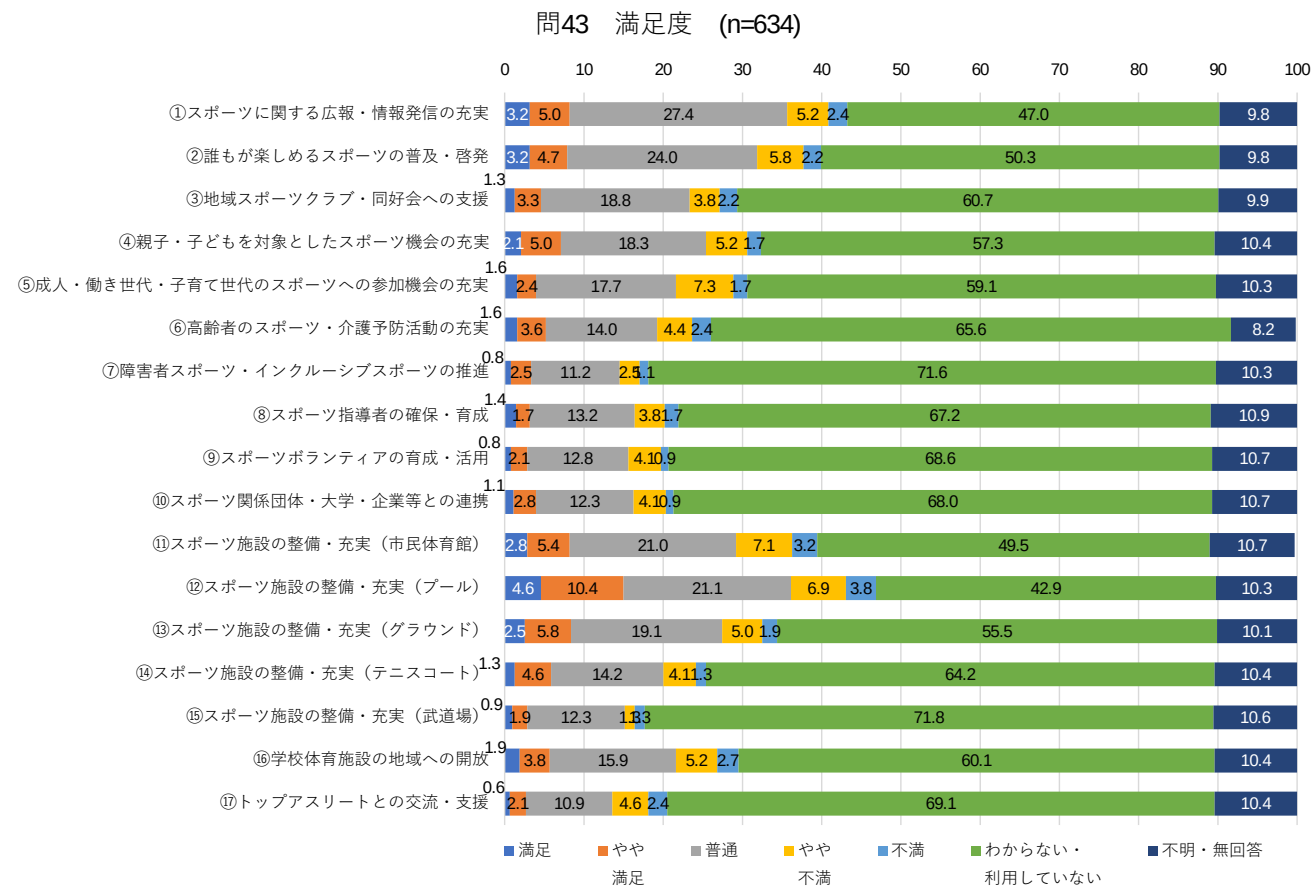


問 42 茨木市内で行われるスポーツ行事で知っているものに
○印をつけてください。



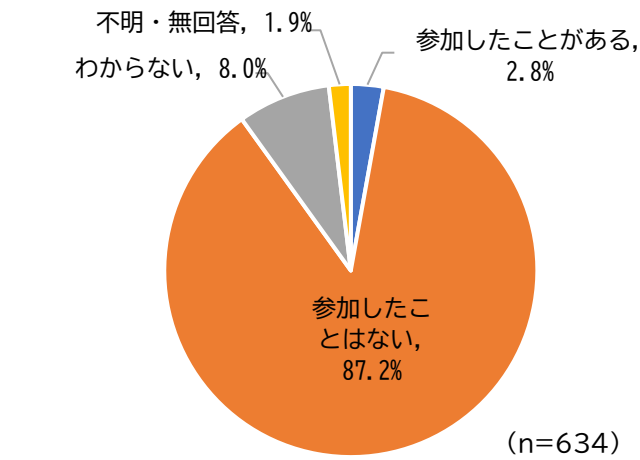
【茨木市のスポーツに関する取り組みについて】

問 43 茨木市のスポーツに関する取り組みについておたずねします。各項目について、現在の「満足度」と今後の「重要度」をそれぞれ1つずつ○をつけてください。

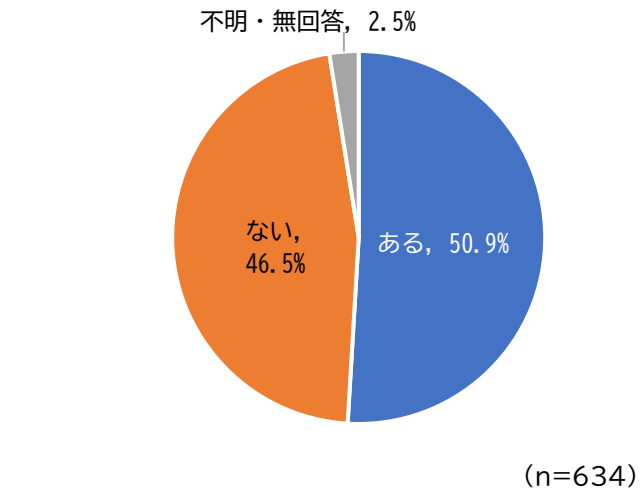


【障害者スポーツ・インクルーシブスポーツについて】

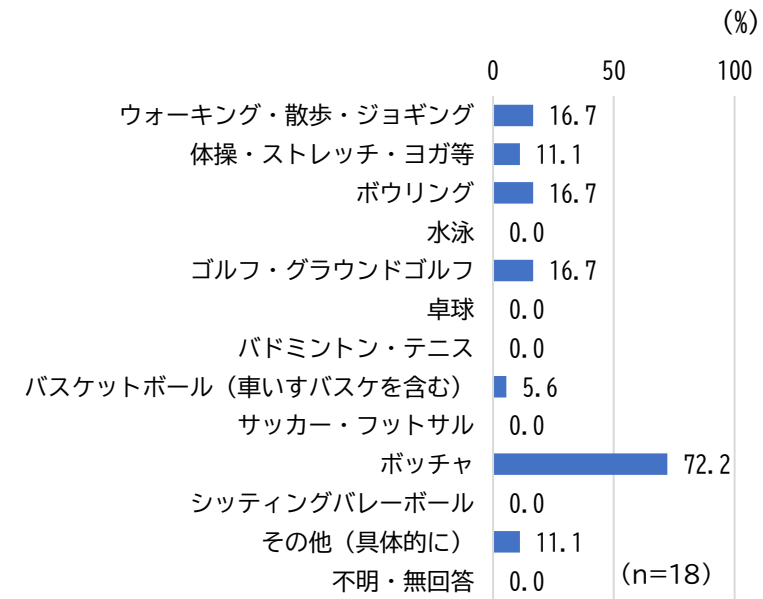
問 44 障害のある人となない人が一緒に楽しめる「インクルーシブスポーツ」に参加したことがありますか。



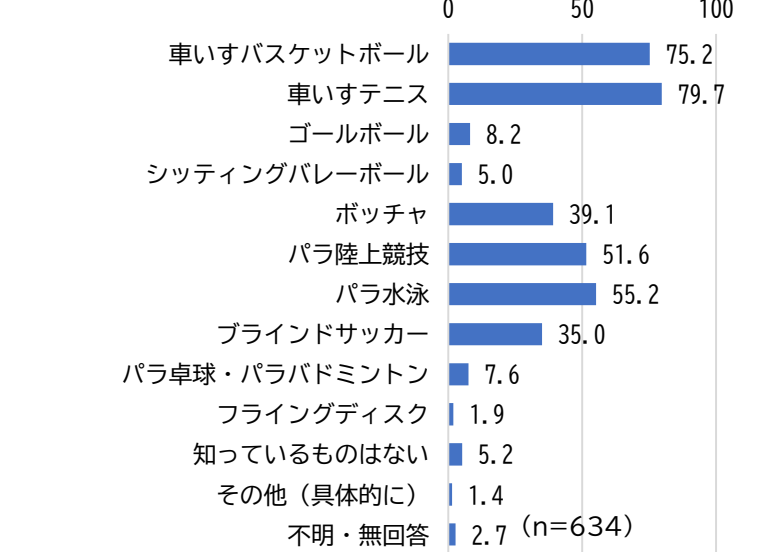
問 46 障害のある人のスポーツを観戦(テレビを含む)したことがありますか。



問 45 一緒に行ったスポーツは何ですか。



問 47 障害のある人のスポーツで知っているものはありますか。



スポーツ関係団体アンケート 結果(速報)

1. 調査概要

主に市内を活動拠点とするスポーツ団体、地域においてスポーツ推進に携わる団体・人材、企業、高齢者・障害者福祉団体を対象にアンケート調査を実施した。

アンケート実施期間	令和8年7月中旬～8月中旬		
アンケート方法	郵送やメール等で調査票を配布・回収		
アンケート対象及び回答状況	名称	配布数	回答数(8月21日現在)
	スポーツ少年団及び理事	24(理事4)	7(4)
	競技団体	29	12
	スポーツ推進委員(理事)	20	6
	スポーツ関連教職員(小学校・中学校部会)	2	－
	幼保施設	12	10
	高齢者福祉団体	1	1
	障害者福祉団体	9	－
	包括連携協定締結企業	11	11
	大学	5	5

※体育協会、総合型地域スポーツクラブは9月にヒアリング調査を実施予定。地域関係団体は8月下旬以降にアンケートを実施予定

2. 調査結果

(1)スポーツ少年団

①団体の運営状況について

- ・活動場所は小中学校の体育館・グラウンドや市営スポーツ施設が中心。施設使用料（特に空調代）の負担、施設の老朽化など、施設面の課題を指摘する回答が多い。
- ・団員（会員）増加に向けては、SNSやホームページでの発信、チラシ配布、体験会の開催等に取り組む団体が多いが、少子化や他の習い事との競合により、大きな増加にはつながっていない団体がみられる。
- ・他都市の団体や大学、高校等と交流している団体がある一方、特段の交流がないとの回答も複数みられた。
- ・障害のある団員は少数ながら在籍実績があり、指導者間で情報を共有する等の配慮を行っている。
- ・スポーツ団体ガバナンスコードについては、団則・規約に基づき対応しているとする回答がある一方、内容の周知や意識改革が十分に進んでいないとの回答もみられた。

②こどものスポーツ活動と団体の活動について

- ・こどものスポーツへの関心の二極化や、基礎体力の低下を感じるとの回答が多い。
- ・保護者については、送迎や当番等の負担を敬遠し、保護者負担が少ないクラブチーム等を選ぶ傾向があるとの指摘がみられた。
- ・中学校部活動の地域展開については、平日指導の難しさや安全面の懸念から、具体的な取組には至っていない団体が多い。

③団体の活動における問題点や課題について

- ・団員数の減少、指導者の高齢化・後継者不足、指導者資格更新等に伴う費用負担が主な課題として挙げられている。

④団体の今後の活動について

- ・団員増加に向けた広報の強化や、新しい競技・活動内容の充実に取り組みたいとする回答が多い。

⑤行政に対して期待している点

- ・施設使用料の減免、空調・熱中症対策、駐車場の整備等、施設面での支援を求める声が多い。

⑥自由記述

- ・こどもが安心・安全にスポーツに取り組める環境づくりや、行政と一体となった継続的な支援を望む意見がみられた。

(2)競技団体

①団体の運営状況について

- ・市民体育館や小中学校体育館を主な活動場所とし、空調使用料の負担、熱中症・防寒対策、駐車場不足等を課題とする回答が多い。
- ・会員増加に向けて SNS・ホームページでの広報や体験会、初心者教室の開催等に取り組む団体が多いが、指導者不足や競技人口の減少を課題とする回答も多い。
- ・他都市団体との交流試合や、三島地区での持ち回りによる大会運営等を通じた連携がみられる。
- ・障害のある会員が在籍する団体は少数だが、個別の配慮を行いながら受け入れている状況がみられる。
- ・スポーツ団体ガバナンスコードについては、取組が十分に進んでいない、あるいは内容を理解できていないとの回答が複数みられた。

②こどものスポーツ活動と団体の活動について

- ・少子化や生活環境の変化により こどもの参加が減少しているとの回答が多い一方、大会参加者数が増えているとの回答もみられた。
- ・部活動の地域展開については、指導者の待遇や送迎の負担、指導方針の違い等を懸念する回答がみられた。

③団体における問題点、課題について

- ・施設使用料や空調使用料の運営費への圧迫、指導者・役員の不足、会員の高齢化等が主な課題として挙げられている。

④団体の今後の活動について

- ・会員増加に向けた広報活動の強化や、次世代の担い手の育成に力を入れたいとする回答が多い。

⑤行政に対して期待している点

- ・体育館使用料・空調費・駐車場料金の減額や施設整備、優先利用枠の拡大等、費用・施設面での支援を求める声が多い。

⑥自由記述

- ・誰もが気軽に参加できる環境づくりや、団体活動の周知・PRの充実を望む意見がみられた。

(3)スポーツ推進委員

①茨木市のスポーツ振興にあたっての取組、問題点や課題について

- ・ニュースポーツ教室や、春季・秋季のソフトボール・3点バレーボール大会の運営等、幅広く「支えるスポーツ」の取組が行われている。
- ・参加する推進委員の固定化、新体力テスト等の担い手不足によるベテラン委員への負担集中、行政担当者の異動に伴う引継ぎ・継続性の課題が挙げられている。

②地域でのスポーツ推進活動の現状・問題点や課題について

- ・自治会長や公民館長の関心度により地域差が生じており、高齢者の参加は活発である一方、こども・若年層の関心の低さや参加者の固定化を指摘する回答が多い。
- ・活動場所は小中学校体育館や公民館が中心。冷暖房設備や床の劣化、備品の経年劣化への対応、高齢者が通いやすい会場設定（近さ・移動手段の確保）等が課題として挙げられている。
- ・障害者スポーツについては、障害福祉センターでのボッチャ体験会に取り組んでいるが、対象施設の拡大や事前の情報共有不足が課題とされている。
- ・広報については自治会・公民館を通じた周知に限界を感じるとの回答がみられ、周知方法の見直しを求める声がみられた。

③スポーツ推進委員活動の現状、問題点・課題について

- ・ソフトボール・3点バレーボール大会の運営やニュースポーツルールブックの作成等の取組がみられる一方、委員間で活動への参加度に差があり、一部委員への負担集中が課題とされている。
- ・指導者・審判員の担い手確保、後任の確保、専門性の育成等が課題として挙げられている。
- ・三島地区や大阪府・近畿ブロックの研修会、大学・支援学校等との連携を通じて、他都市のスポーツ推進委員や関係団体との交流が行われている。

④今後の地域のスポーツ推進活動、団体運営等について

- ・継続的な活動機会の確保や、大学生や支援学校、青少年健全育成関連団体、老人クラブ等他団体とのコラボレーション、公民館単位での仲間づくりに取り組みたいとする回答が多い。
- ・行政に対しては、指導者養成や人材バンクの整備、スポーツ情報発信の一元化（アプリ化等）、スポーツ関連情報の充実等に期待する声がみられた。

(4)高齢者福祉団体

①いきがいづくり、健康づくり活動について

- ・春季ハイキング、グラウンド・ゴルフ大会、ニュースポーツ大会、ボウリング大会、ボッチャ大会等、各種のスポーツ・年間を通じて健康づくり活動を実施しており、多くの高齢者が参加している。また、活動の際には、熱中症対策に留意しているとの回答があった。

②地域スポーツ・インクルーシブスポーツについて

- ・ボッチャを今年度からスポーツとして取り入れており、モルックについても今後大会種目として取り入れる予定との回答があった。
- ・グラウンド・ゴルフ用の芝生グラウンドの整備を望む声がみられた。

③団体運営・支援体制について

- ・活動で利用する市民体育館の冷暖房設備（特に夏場の効き）の改善を望む声がみられた。

(5)幼保施設

①日頃の「運動遊び」「外遊び」の状況について

- ・平日の外遊び時間は施設により「30分未満」から「2時間以上」までばらつきがみられる。
- ・サーキット遊びやリトミック、鬼ごっこ、ドッジボール、固定遊具を使った遊び等、各施設で工夫した取組が行われている。
- ・日本スポーツ協会の「アクティブチャイルドプログラム」については、多くの施設から「知らない」「特に活用していない」との回答があった。
- ・運動遊びを進める上での課題として、園庭の広さや遊具置き場の不足、天候・猛暑への対応、職員の専門知識・指導ノウハウの不足等が多くの施設から挙げられている。
- ・近年のこどもの体力・運動面の変化として、体幹の弱さや姿勢保持の難しさ、転びやすさ、歩く経験の少なさ等を指摘する回答が多くみられた。
- ・保護者の意識については、運動能力の向上を「習い事」に委ねる傾向があり、日常生活の中で運動遊びを取り入れる意識は薄いとの指摘がみられた。

(6)包括連携協定締結企業

①協定等茨木市とのスポーツ分野に関連する取組

- ・具体的に取組が行われている回答として、健康分野での取組が複数見られる他、「はつらつ教室」等福祉分野、農業分野との連携等がみられた。
- ・今後、アスリートによるイベント開催や大学との連携拡大等が検討されている。

②企業のスポーツに関連する活動、スポーツ活動の支援について

- ・社会人スポーツクラブを保有し、全国大会等を目指して活動する企業が複数みられ、地域向け教室や交流活動にもつながっている。

③従業員のスポーツ活動の支援や健康経営の取組について

- ・健康診断・人間ドック補助やストレスチェック、健康経営優良法人の認定取得等、健康経営の取組等が広くみられる他、社内クラブ活動への費用補助や観戦チケットの配布、ジム利用の優待等、従業員のスポーツ活動を後押しする企業がみられた。
- ・健康意識の個人差や参加率の維持、時間・人的余裕の不足が挙げられ、行政への期待として好事例の共有や企業間交流の機会創出等が挙げられている。

④茨木市のスポーツ施策について

- ・子どもから高齢者まで幅広い世代が参加できるスポーツ機会の充実や、地域スポーツ団体と企業が協力できる仕組みづくりを求める意見もみられた。

(7)大学

①学生の運動・スポーツへの取組について

- ・将来、スポーツに関わる職を志す学生が多い大学や健康科学系学科の新設で関心が高まる大学がみられた。
- ・一方、伝統ある運動部・サークルの廃部等により加入者が減少している大学もみられた。

②地域のスポーツ推進活動との関わりについて

- ・小中学生向けスポーツスクールの開催や部活動への用具寄贈、体力測定会・運動教室等、地域住民向けの取組を行う大学が複数みられる。
- ・部活動の地域展開・学校支援に協力可能とする大学がある一方、具体的な取組がない大学もあった。
- ・イベント運営時の人員確保等が課題とされている。

③大学のスポーツ関連施設について

- ・体育館やグラウンドを地域団体の活動に活用している例がある一方、地域開放の実績がほとんどない大学もみられる。
- ・学生数の増加により施設が課外活動の需要に追いつかないとの声もあった。

④今後の地域のスポーツ推進活動等について

- ・地域のスポーツ活動に協力したいとする回答が多く、実施にあたっては学校行事との兼ね合いや施設利用ルールの整理が必要との指摘があった。

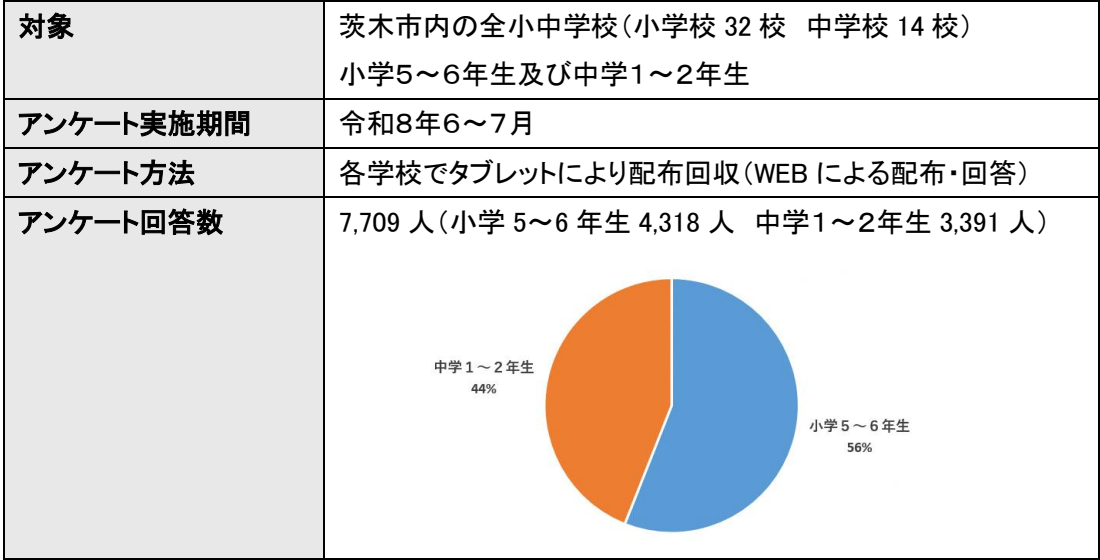
⑤自由記述

- ・部活動の外部指導者向け研修体制の整備や、その担い手として大学人材の活用に期待する声、地域との接点は少ないが要望があれば協力したいとの声がみられた。

小中学校アンケート結果概要（速報）

1. 調査概要

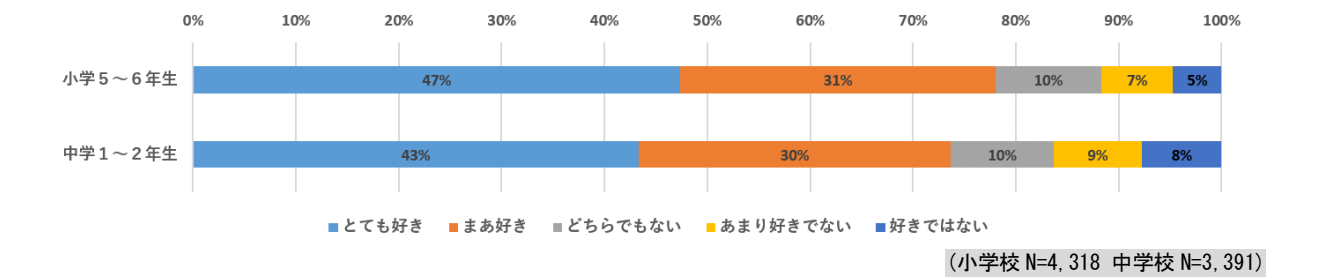
茨木市内の小中学校の児童生徒を対象に、スポーツの活動状況や市民プールの利用状況についてのアンケート調査を実施した。



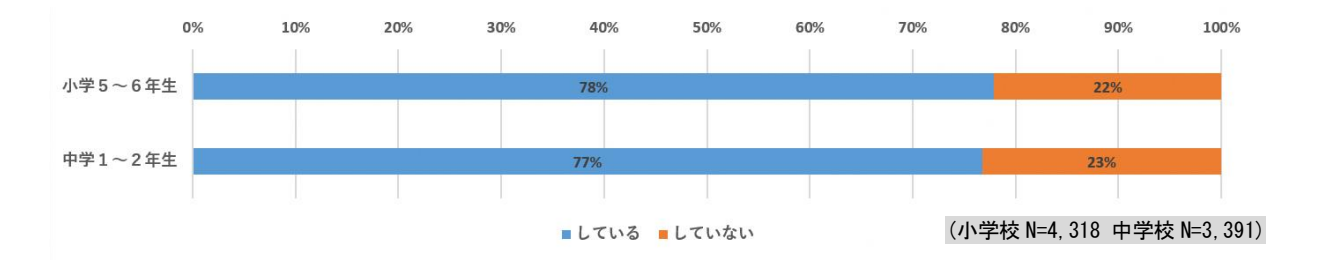
2. 調査結果概要（速報）

スポーツについて

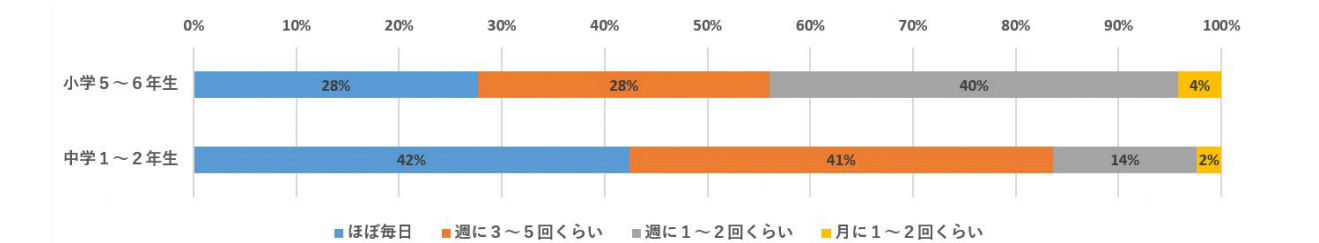
問 1 スポーツや運動は好きですか。学校の体育の授業も含みます。



問 2 学校の体育の授業以外で、スポーツや運動をしていますか。

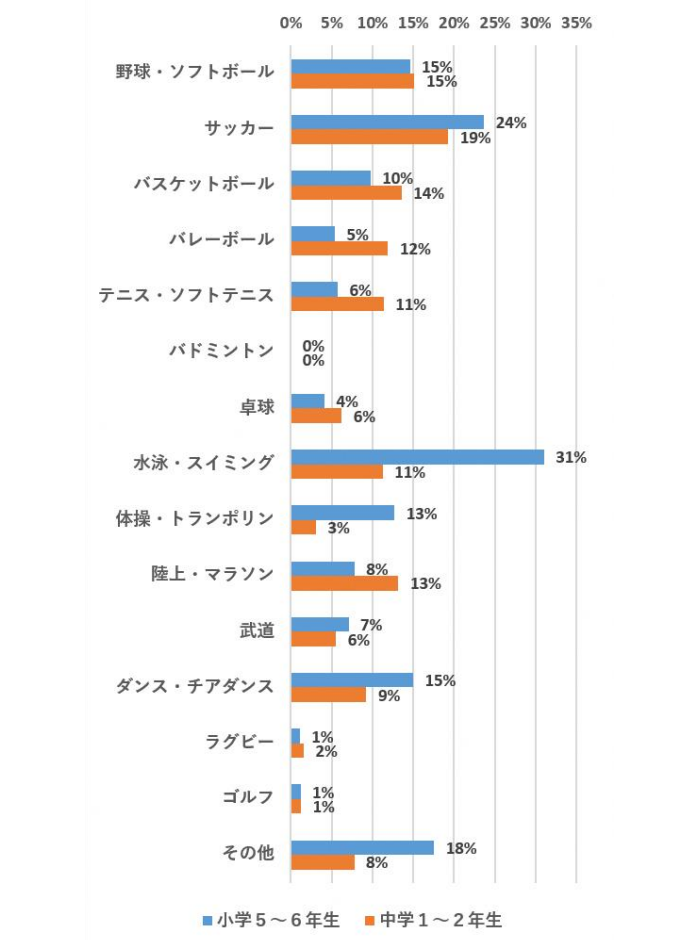


問 3 どのくらいのペースでしていますか。

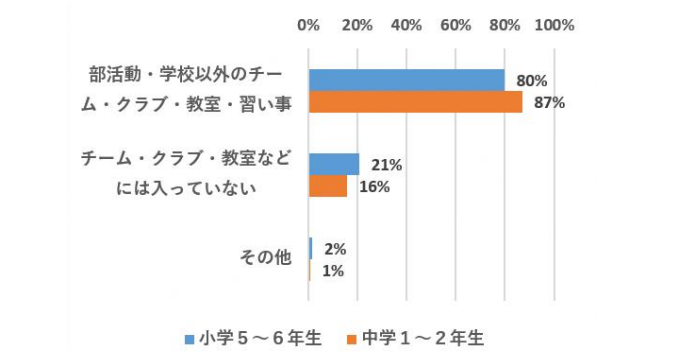


問 3～9（小学校 N=3, 365 中学校 N=2, 602） ※問 2 にて「している」の回答者

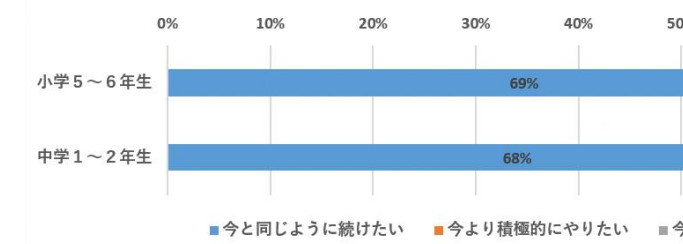
問 4 どんなスポーツや運動をしていますか。



問 7 体育の授業以外で、スポーツや運動のチーム・クラブ・教室などに入っていますか。

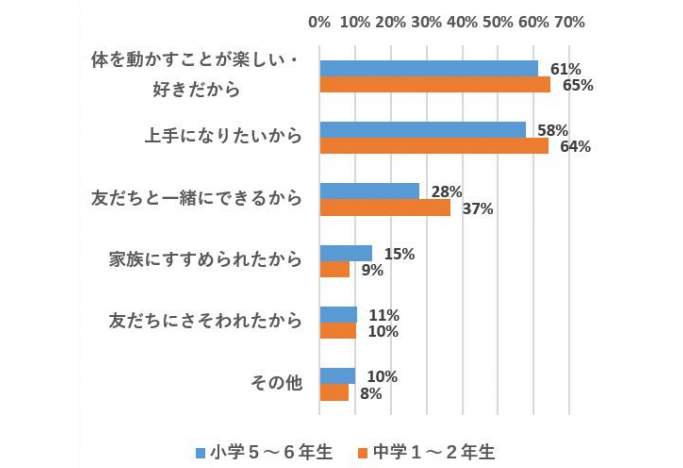


問 9 これからもスポーツや運動を続けたいと思いますか。

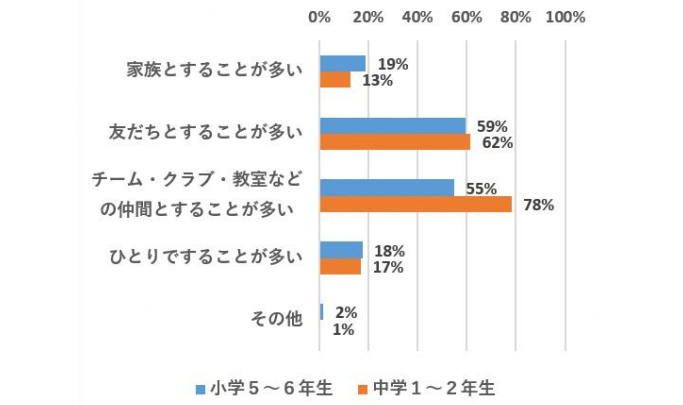


問 3～9（小学校 N=3, 365 中学校 N=2, 602） ※問 2 にて「している」の回答者

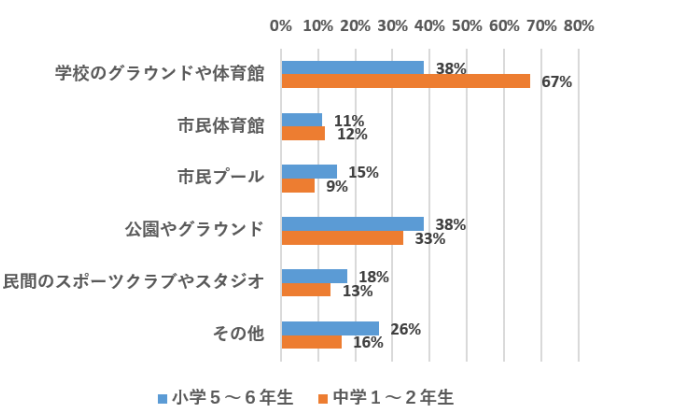
問 5 スポーツや運動をしている理由を教えてください。



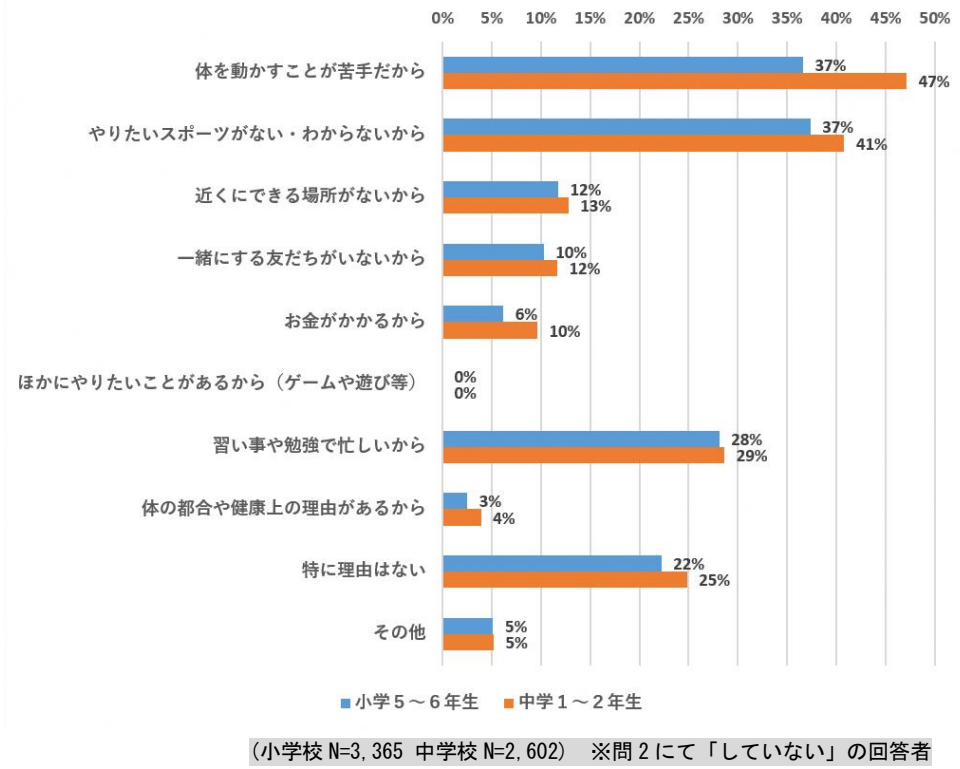
問 6 体育の授業以外で、スポーツや運動をするときは、だれとすることが多いですか。



問 8 体育の授業以外で、スポーツや運動をする場所はどこですか。

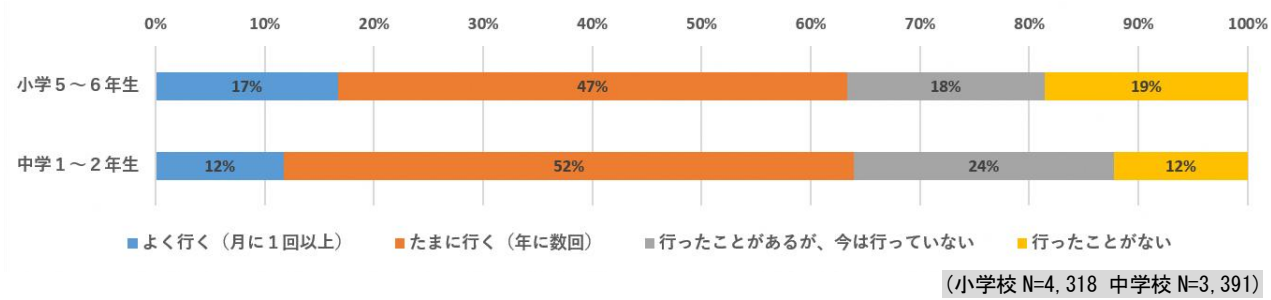


問 10 体育の授業以外で、スポーツや運動をしていない理由を教えてください。

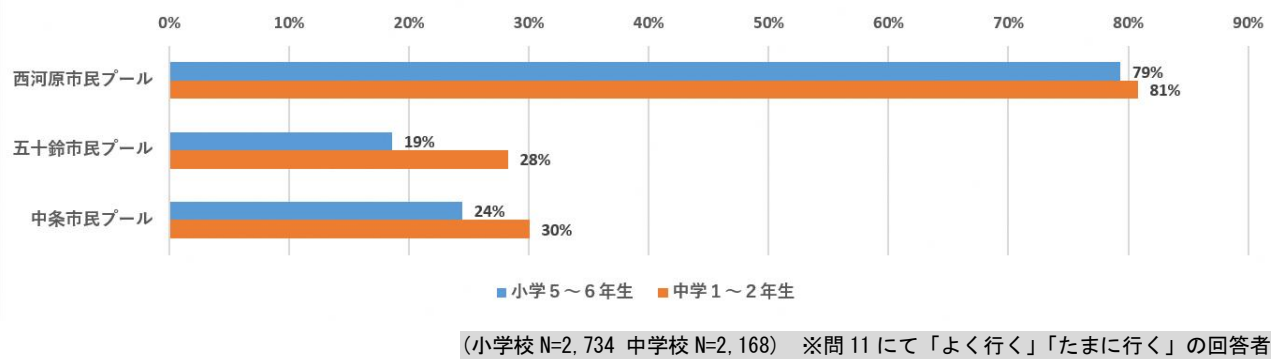


市民プールやその他の施設について

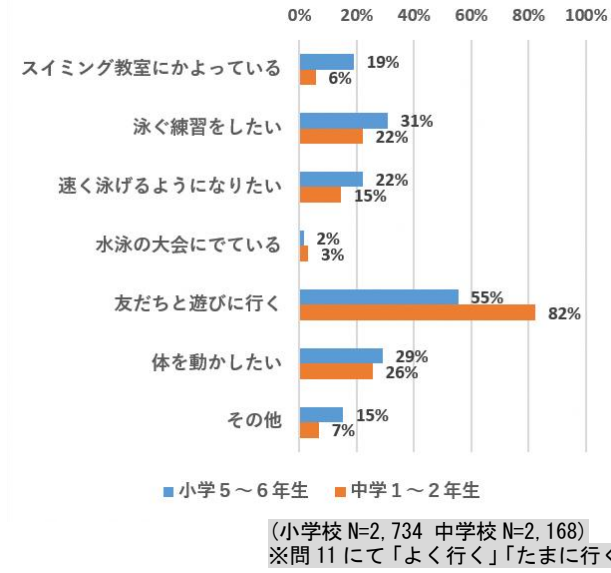
問 11 茨木市の市民プールに行くことがありますか。



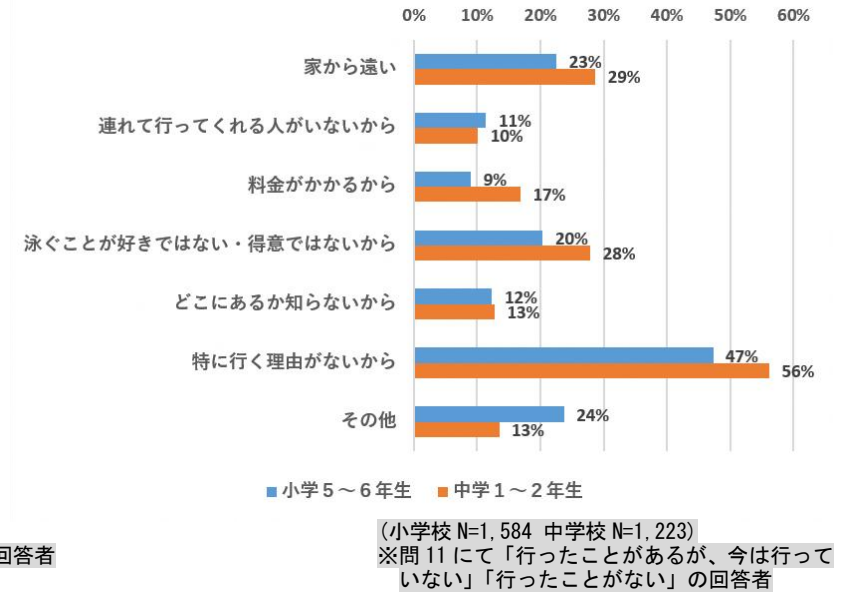
問 12 どの市民プールに行きましたか。



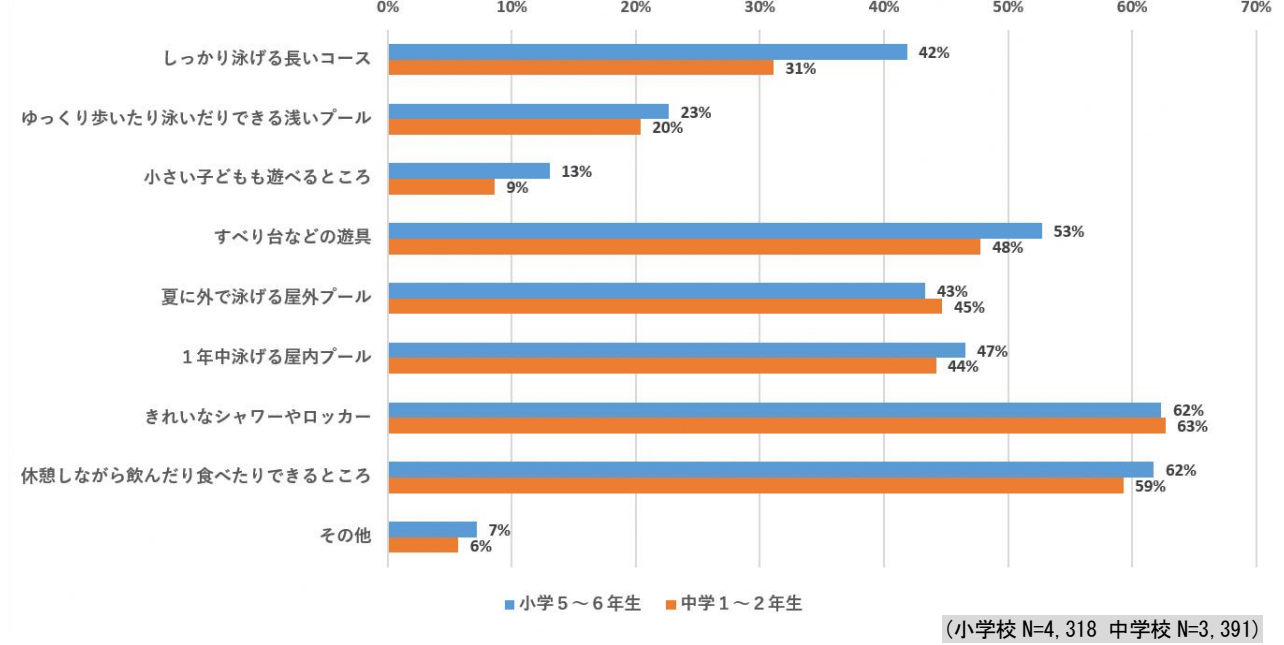
問 13 プールに行く理由を教えてください。



問 14 プールに行っていない理由を教えてください。



問 15 もし、新しいプールができれば、どんなものがあるとうれしいですか。



問 16 茨木市でスポーツや運動をもっと楽しむために、どんなものがあるとよいと思いますか。

